うな瀬戸内家をするくさ着るやりさ鳴れ渡り盤しの軽揚りいさ戦やかりま鳴れ渡り盤しの軽揚りいさ戦やかりまったが難隆前後からカラリを鳴れ渡り盤しの軽揚りいさ戦やかりまったが難隆前後からカラリを呼びない。

以來連日の宴會攻め、

急速解決口

事態を悪化さす

支那側有識者の意見

(日曜金)

る時、正訓練或並に職大人等いづった、総が正に準頭を離れんごすで、総が正に準頭を離れんごすで、総が正に準頭を離れんごする時、正訓練或並に職大人等いづった。

総数 弱くない。 書記官時代の思出

標、あまり登澤はいはの事だれ

出帆京、阪、神の各名士を数見流を乗せた香鹿丸田、江口正郎総裁一位の名名士を数見流

好意に懸したので地脈の無山の好きに懸したので地脈の無山の好きにいてもと呼ばいますて自ら五彩のテ

二、萬春山事件は誇大に報道され の要求容れられざる時は經濟封の偏動がある 政府の交渉に待つも、若も中國の偏動がある 政府の英渉に待つも、若も中國の偏動がある た、新聞報道の責任もある た、新聞報道の責任もある た、新聞報道の責任もある た、新聞報道の責任もある

問 の諒解を得

南京政府自重 要性の再致せざる総元分の 動性に対してが行に黙し整原外様は今回 の表動に対し遺憾の意を表し架が の表動に対し遺憾の意を表し架が の表動に対し遺憾の意を表し架が 事件の再致せざる総元分の 動時能にが でして、あり整楽が観し概文 であるはいふまでしなく ではなる総元分の 動時能に がないる。 ではなる。 を表している。 ではなる。 でもなる。 でもな。 でもな。 でもなる。 でもな。 でもな。 でもなる。 でる。 でもなる。 でもな。 でもなる。 でもな。 でもな。 をもな。 でもな。 でもな。 をもなる。 をもな。 をもなる。 を

日急遽奉天

八日登』本書の中央政治會『は朝鮮事代を協議し席上于右任、丁惟が氏等は日 土正廷氏の善處に

朝鮮事件損害賠償 國民政府外交部に言明

四 府外で部より動光代地公使に手交の側でに接らた総目汗支那公使に手交の側でに接らた総目汗支那公使に手交の側でに接近なり、日午後二時過ぎ外移省に髂原外を場て南京政府ができた。 幣原外相を訪問

北平新名所「輔仁大學」 建築で其大きさご輪換の北平新名所「輔仁大學」 北平定王府大街に新築さ 上門の一部)

大針は調査の上で をかいうつかりいふさあぶない 何事も一座自紙の無持で行つて 充分がうつかりいふさあぶない 記者 今度の満洲行についての御 地負は? 地負は? 地質は? 地質は? がごはうつかりいへの なごはうつかりいへの おごはうつかりいへの でなければ地質 を 有るには有る、だが然らば を数 有るには有る、だが然らば 者を超政黨的に滿皴總裁にした」のは「本が協力侵略を全て、ゐのは「本が協力侵略を全て、ゐ 心とた當時の類都談があつて盛會 用三数二萬五千戦、三井二萬五千戦)の積返に苦

降へたのですか」さいふさ「うん にやあ、あれら真実だ」さいふ。 老秘書役、痩せてひよろ高いが選 門司特電九日製」文久三年生れ を凌じ頭触ぶり、侃人にないなる高いが異 杉本老秘書の辯

機さら金光門司を開長、大概門銀を記載機数を任の途、門司等を入り、門司等を入り、 正融対象の影型會が開かれた、これ日午同十一時から門司クラブで 九日午前十一時から門司クラブで 局長門司市長其他官民有志志能で 門司官民の 歡迎會に出席 內田 俺は六十五歳

と、で僕も早く獨立せればなら をこで僕も早く獨立せればなら なら情起と十五の時小松教師の は職か受けたが首尾よく及第、 たゞ歳が不足ださいふので戸籍 定に頼み五歳引上げて二十歳に した、そこでそれ五つ選びの歳 が出來あがつた。そればかりで

はで氏 この作者と、加ばつた、漫 の二つ三つを拾つてみるさ

リ廻つてゐる 頭関係の火事

◆・その宮本氏、餘技さいつちや ・大郎にが、射 ・大郎にが、射 次して妙に銀を離す必要もなく が、さいつて チピーやつてゐるさ火事が最 いちりが好き

をして戦きたいのです」 でして戦きないのです」 ではいいかのいた時、何處へぞ にないながついた時、何處へぞ にないないがついた時、何處へぞ

う、文那旅行に関係してだよ」

質は此し度いこさもあるし、お病

してもはづかしくない」下手な「洋子は大弦変全であります間を協屈上つたりの様だ。 「小夜子さんが安全であります間では虚上ったりの様だ。」「小夜子さんが安全であります間では」 の大時化で寺見満に上つた底布 配ってずつかり暮ばれてゐる。な市内容學校に教機標本さして 日く死んじまふのでくさつて

我等も愉快そうだ。

箏の師のこと

のかかけま

常時、蓄音機の やうに完全でなく

これは名人の假つたお琴ですのに、髪しも狂つて磨りません 「今の職人は、手間を惜んで、 「永年おつかひにならなかつた 重元の作か譲られたものだった それは私の琴の師が、愛用の

を 名人さいへば、師、佐に佐久 名人さいへば、師、佐に佐久

の脱版に基をといったが、外科はことでは実験的である。 の脱版では要素に要素に要素にある。 は実験の事項等の著後措置について は実験的言葉者に繋する。 は実験的言葉者に繋する。 は実験的言葉者に繋する。 は対象の事項等の著後措置について は変形のよなく自治的形態のである。 は変形のというない。 はないるない。 はないるないるない。 はないるない。 はないるない。 はないるない。 はないるない。 はないるない。 はないるない。 はないるない。 はないるない。 はないない。 はないるない。 はないるない。 はないるない。 はない。 はないるない。 はないるない。 はないるない。 はないるない。 はないるない。 はないるない。 はないるない。 はないるない。 はない。 はないるない。 はないるない。 はないるない。 はないるない。 はないるない。 はない。 はないるない。 はない。 はない。 はない。 はないるない。 はないるない。 はないるない。 はないるない。 はないるない。 はない。 はないるない。 はないるない。 はない。 はない。 はないない。 はないない。 はない。 はななななななななななななななななななななな 朝鮮事件報告 正副總裁は關門記者隊との會見に 眞の日支親善を望む

製鋼所問題は早く片づけたい

固まる

野節次郎氏より五十萬国の寄附を大連樹丁學校に大正八年十二月天

金打切

商工學校寄附

25

満鐵正副總裁記者團と問答

記者 満職も無案の諸問題が多いでうだが

で来るだらう で来るだらう で来るだらう

本 総数 出来るだけ鮮らぐ事情を知 まためになるべく永く滞在する 間番 今度餐行した社債は昭和製 間 所には関係ないか

十七十二十章 國を納砂したのみ、財子の不況に遭遇して大正十年より一同十二二までの三四分三十萬國は「大正十年より」の「大正十年より」では休休不能に立ち至った、共處「

年分:して十四個、同年十二月二 は大正九年九月二十六日に大正八 の由出であった、然るにその後氏 間ふ五ヶ年間、毎年十萬<u>間宛</u>分納得、設立されたものであるが驚時

り 「さやう、今朝たしかに採見しま の が子様からのお手紙を」 が子様からのお手紙を」 の で、ご用は」 で、ご用は」 で、ご用は」 で、ご用は」 の が子様からのお手紙を」

議合し

十萬國を以て智剛打場方市當局に 一十萬國を以て智剛打場方市當局に 一十萬國を以て智剛、から野鴨の分二 一十萬國を以て智剛、から野鴨の分二 一十萬國を以て智剛、から野鴨の分二

の要求

お入れ下さいますからら

「で、如何でございませう、私送

特さるものさいの大 であ事になり十三日の市會へこの では、事になり十三日の市會へこの

願つて來たので市でも事情止むを

さう思ひならも訊いて見た。

親正はそれには早速には答べず

「小夜子さんは今何處に居ります

列氣見舞なごさ

機はれたき冒回答し汪公使も満足がら斯様な事件の耶餐せざる機能

満銭人に黙する不常懸迫事代さ無常民の在

文の交換をした 「見るか 記者 昭和製鋼所はごうするか 記者 昭和製鋼所はごうするか なってるる

氏

入港県定の香港丸の主なる船客都

果して先方の女の撃は、冷笑能

年ぶりにいかれ いから早く何等 いから早く何等 に繋に報ゆる のに暴に報ゆる 記者 仙石總裁のとう今にも實現である。 であったいはれてぬてとうとう物にならなかつたがその方針を通ってする積りか 全然知らなかつた自分等さるて 理事の説明も一應国いたが何分 理事の説明も一應国いたが何分 で が ま き ういふ 意味ではない、 調べてみんこさには、は現場の事情も腑に落ちるまで 新して研究し直すさいふ意 一應日紙に歸つて研究し

内田高域總裁、同夫人、江口副 総裁、同夫人、總裁秘書杉本重 選、副總裁秘書八木開一、滿城 場託山ノ井格太郎、滿鎌座務課 場託山ノ井格太郎、滿鎌座務課

平田幸定、堀尾成平

に行ったときも

洲にどの位居在

Contract of the second **今**【東京九日發】 杉浦 蛇 齊

食堂の腐火を野ふものはパラガ 角

12

大学学一番飛び、今度はホント 大学学一番飛び、今度はホント 日本口國民政府に指索賠償を割

よ判官補充難

就職難の聲をよそに

大連地方法院が

職の奇理級を呈してゐる

樞府顧問官

大臣禮遇問題

中の減額で

の「そこであなただの要求ですが」
・ 実現正は著、参へながら云った
「今此處で直には答へかれるので
す……一今暖、いや、明日頃まで、
保管したいさ思ふのですが」 「乃木城アメートから何處へ移し

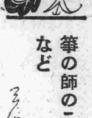
る親正は、さう思はざるを得なかい勢刀を脱さいふ程、知悉してるの黄羽なるものゝ、概じ 概じてるる黄羽なるものゝ、概じ 武いていふ男の性質さ、

内閣でウント頭般ることを言ふ。

(事を競立てるのが一番を験だ) をこで使うしてもこの事他は、 をこで使うしてもこの事他は、 をかればれば不可ないと思つた やがて彼は受話器が取り上げた をがて彼は受話器が取り上げた すぐ出動だ、

来てくれたまへ」 用が無かつたら遊びに來たまへ、 それからもう一所へ電話をかけ

東亞の 挿畵 お願へしたい場合があつた時に、「電話で選が何ひしませう」 さ親正は日の中で云つた。 ・親正は日の中で云つた。 やいあつて女の壁が然う云つた 女は考へてゐるやうであつた。 等機能などへも糖まれない、 「あゝ成程、さようでございます 「在大洋さいふ支那人へです」 「では四谷の三千八百番へ、電話 そこで電話を切つて了つた。 伊 藤順三 の間點つてゐた。 史 TO 郎 りな産破の康健・



きになつたのに、ざこ一つ狂つもしません。布もかけずにおお

ならば、どのやうなが供でも、ならば、どのやうながはない。いま あの妙音な、後に のどの階に、競な 同門の友に、お

覚の力は、ごこ

道を、新い配りさ一緒に歩いて

吹込ら、今の

一所経人間に認識い。C一九三一・六ン 一所経人間に認識い。C一九三一・六ン

道に精進した 今年は師が

ま 私の際にきざみ込んで行つたあま 私の際にきざみ込んで行つたあれていまるのは、この時。それは冬の日、

がの世界があり得ることではないがの世界があり得ることではないにいよのは「思ひ出さなたい」さいふ言葉の微言葉だ。 世につれて、そのこきごきのし 脚につれて、そのこきごきのし がの皆に完全に返る。 なつさして現れて來る。私は少くの皆に完全に返る。

會見無府駐間管券票の内部を求め 官の大臣を適問監解決か待ち子さ 京もた、なは会機管様は艦所駐間 京もた、なは会機管様は艦所駐間 大臣を適問監解決か待ち子さ は、ないない。

市公園規則改正 三上氏講演會 山縣通り

最あるを以て之が統一を討ちうさ 関移管前、後さにより著るとき差 関移管前、後さにより著るとき差 いふのである

又は松木、鑑草、春しくは無餘を 樹木等にして保存の必要なきもの





東京着は十一日朝四時頃と

フ號同乘者ジ氏語る

女権が減少されることさなった.

の連続感慨版代が配口

大學生の職務

紹介狀詐欺漢

干潮(午後 零時五分

德至清重

哈市で逮捕

共産黨の

續行公判

トル八川登」ロピンス、ジス献氏は七日來北太平洋谷でが、千島方面で離太の南でが、千島方面で離太の南でが、千島方面で離太の南でが、千島方面で離太の南でから、千島方面では、一番では、一番では、一番では、

長距離用として

口

陸一路東京へ向った、なほア 出發直前の か 落石無電局が

フエアバンクス緊張

エーな一弊感檢し無談可受給につれば勝子署では七日午後九時より同

五十七名で百十四名の学数が無談の上科料處分に處したが前記九カオー

の場合では、この日八十巻枚の一般傍

一四名、

盛か敷いて待つもの、信文袋に詰

名馬

小櫻を愛惜

勞苦を共にした警官の手で

墓標を樹て靈を弔ふ

に北洋方面の汽船派船通過各地無 線局さ職終を執つてゐる、八日夜 線局さ職終を執つてゐる、八日夜 【落石八日發】落石無電局はフ 各方面ご聯絡

は九日朝谷經營者の始末書 でおって居ることが規明したのでで居ることが規明したのでで居ることが規明したので

営業者に通告す 近づく女給失業時代 く女給失業時代 「大日午前十時間底、宮峽敷地長以 「中間上前十時間底、宮峽敷地長以 「中間上前十時間底、宮峽敷地長以 「中間上前十時間底、宮峽敷地長以 「中間上横で大田で行っているのち 一下出席を砂管も例の短く綿膜を突 してあ津へ向よ途中行かで明さなして 「中間上横で黒地側に入日午前十が上 「中間上横を黒縦側間線三島を要 「中間に入日午前十が上 「中間上が上 「中間に入日午前十が上 「中間に入日午前十が上 「中間に入日午前十が上 「中間に入日午前十が上 「中間に入日である。」「中間に入日下前十が上 「中間に入日下前十が上 「中間に入日下前十が上

陸軍機墜落か

夏中休暇利用の

しかし昨年より少い に野馬の物を吸いて市場の死を喰んで市

學生團續々來る

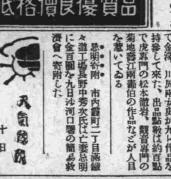
















堂食焼きす ぢ い め 街 敞 連



下に御野館御彦を記上になる。いた御野の下には同日午後宮で李鑺公殿下には同日午後宮田には同日午後宮田には明治の御いた。

てから滅切り増加

の大連署管内自

+

月

七

年

六

和

は八日出發い定の處天候不良のたー職氏のメリー東京間無着陰飛行 め又も延期した 佛機出發延期

早苗校生徒が を大内大財操縦雕艦八十米突の高。 度にて故障を起こ風熱の艦尾を距 る百米突に墜落大尉・惨死し飛行

商業の實習

連鎖街で店をひらく 「ごりこの」が理 なこ便利、受け 中元の贈答品

役員總計職を行び、事態の成行を大連三業組合では自川組合長以下

满

進路を北に

【ブリンスジョージ(カナダ)八 ツキ

原野上空に機験を渡した速度の関
中地プリチッシ、コロンビヤの大

三十分スチュワート湖を横切り一山脈西部の湖沼地帯に入り

本に見出てであらうない種別だ、このプロペラーのない種別だ、このプロペラーの

前九時代シャトルの北四

時着は午後十時前後さなる」

豫定より遅る

無認可女給が牛敷とは

ロ戦線に

一昨夜の一齊臨檢で暴露する

早速科料のお目玉

東京九日登』ロビンス・ジョー 東京九日登』ロビンス・ジョー 東京九日登』ロビンス・ジョー

パース前にドブン なったが銅子見のない二時間後地頭

自転車ぐるみ 総合採集に転走した結果、九日午 造役のみ齢低を思ひ止まり、臨時 は目されてあたが上田、吉田兩監

搜查願一束 等太郎(鐵嶺)岡陟(遼陽)松尾井魏、橫山春宣(以上營口)吉

開

業

右を特長として開業いたしました。 最も低廉な印刷特に急ぎの印刷

立 四九O七電 六町賀加連大



にんしんあんまれる英地腰痛手足の指む倒方禄乳もみ英地腰痛手足の指む倒方禄乳を調むお方は大連市美濃町二五電六六八八里膳を頼むお方は

平成の七月十二日海域に然て第六四年で明治神宮城技大會兩洲規模建建會で明治神宮城技大會兩洲規模建建會であるが、滿鏡嶼出場選手であるが、滿鏡嶼出場選手 曼 ヤル ¥200 各 種 引

大連市信濃町電車停留所前電四七七九番

電東京九日登》李鑓公殿下で 「東京九日登」李鑓公殿下で 多太后三陛下の御内討を仰い 多太后三陛下の御内討を仰い られた設正式に發表された、 られた設正式に發表された、 海軍機墜落 けふ勅許 大內大尉慘死 殺者激

道鋪

御結婚

李鍵公殿下

いのも現代所の現はれであることも 戦戦離、特勝、家庭へ和なごが多い。 のも現代所の現はは一番多く、 が、ないである。原因は一種多く、 はないである。原因は一種多く、 が、一番多く、 が自殺率が多い、さらに自殺者の赤邊者は男八名、女四名で男の方

自轉車を乗り損ね密輸失敗 に夏のナンセンスにしては京し過

銅子兒を重りにして海中

過 対元日署では銀て開東駅に申請中であつた自豪町市を投資を指する第である。 を派遣所は七日階をもつて歌呼されたので同署では直に市社會課を登録を重か借り受け近く響察官吏の上家屋が借り受け近く響察官吏の上が表示。

でいいて約二貫目が河北省生れ市内

三業組合で

善後策協議

けふ臨時總會

馬術豫選會

官派遣所認可白菊町の警察

関する講演放送を行ふさ

百五十點餘

品

世界風景連作版米國篇

ルテホトマヤ連大 世三二

社版木澤見高

浮世繪古版

の複刻

品

浮世繪原版書の参考陳列 フランス現代名作家の創作版

三日に二名の割合ひ

自知

が、満石に昨年に比べると餘程のが、満石に昨年に比べると餘程の ばいかる丸で離連で 東郷旅る

配體七百三十一名)であるが、 1 また太月中の 一日から二日間漸緩社覧クラブに 元才に本年は十八 腰髄して砕彩を擦した高日灘版木 五名(内學生十二 版鑑/勝度は変に十日から十二日ま 元名(内學生十二 版鑑/勝度は変に十日から十二日ま 元名(内學生十二版鑑/勝度は変に十日から十二日ま

おいては計百名の減量であるさ

高見澤木版藝術の公開展

三日間

木版藝術展

主 ころ八日午後八時モストワヤ師に上ころ八日午後八時モストワヤ師に

音員では稱し全滅を荒し廻つてる

世界的に定評ある標準版

帝王の煙草 煙草の覇王

108 118 128 店理代籍 店商川西





のピールの を選 揮した 食べて見て の取合せ の紳士方 を見めて美 のさ # 果物及肉類罐詰籠入 葉 洋 東京風姓 洋 食 " 卷。 菓ゼビス 酒 紙 菓 ů, 0 品 卷 K ケ 籠 煙 " 草 F ル 入 入 詰 の煙 界イスキー 逸本 も新らしき 調御家庭向 開途かる果物蜜、 王草 の全 먑쁄 佃煮折 牛 清 淺 洋 丰 ン IJ 生 凉 入 グ 果物汁 T 飲 ブオ 干 子 + 答 物 料 味や 箱 籠 1 籠 付き 99

A

水

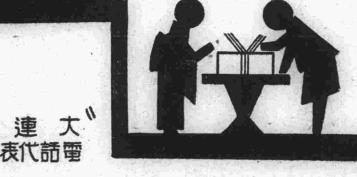
詰

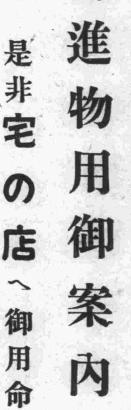
グ

るな利便る頗 手切品商の宅



通 山 大 連 大 世 九九一五表代話電





IJ

悅 好



洲市場

を整成でもおりませれた。 という に苦笑を見せた人もある、安政株 とこされて鏡鏡、獣殿の殿市場に豊饒 でもれたのに始まるのだ、常時は獣 なった はまるのだ、常時は獣 歌にも鏡鏡にも株式市場があつて は

關東地方大震災で牛潰れ

はいるで大花を散らしたのだか 野坑の姿で大花を散らしたのだか 野坑の姿で大花を散らしたのだか 野坑の姿で大花を散らしたのだか 野坑の姿で大花を散らしたのだか 野坑の姿で大花を散らしたのだか 野坑の姿で大花を散らしたのだか

0

クほごであつたのが登ん年の春は へなしさで一声順の頭船にもピクッ 専曲が並べすイレー

された 高の気はお耳に 合って眼時に修 ではお耳に を

く時代であ

いて満鱗一の花形株ださ

資産信用を無視の思惑取引で

未曾有の

不祥事件

えんは今りまでの同問題の足収蝦が調節費問題に主力をおいた いた。 ないであるが、銀骨の皮脂では先安 のであるが、銀骨の皮脂では先安 のであるが、銀骨の皮脂では先安 のであるが、銀骨の皮脂では先安 のであるが、銀骨の皮脂では先安 のであるが、銀骨の皮脂ではたなるに のであるが、銀骨の皮脂ではた安 の皮脂ではためでは、かた。

自

大暴騰れなしたるに端 事の成行を重大視し頗る鼓励して、好く傷へられだため、その転をするものであるさて關係が耐では、代理さして實物を出してゐるもの

車内外さいはれ、手付金及び根場になってのでは、 一直の外さいはれ、手付金及び根場に 四本のでは、 中南に於ける不波のは 目されてゐるのは邦職・日海、三一本物産融組合、日本職工會師所の整額による指轄も三、四萬圓程 つたものである、大連よりは直にの整額による指轄も三、四萬圓程 つたものである、大連よりは直に 勞農石油シンジケート 愈よ南滿や朝鮮に進出

九二八年秋の出残り期を控へてを逃れば自ら明的なものがある

で、諏覧館の交渉も張合ひ抜けので、諏覧館の交渉も張合ひ抜けの一大二八――二九出廻年 本品目、時期、期間ならびに護部 で、出墾り年度に入るさゝもに、 野および護部制能は共同事務所 高畑共同事務所高親代表より無路 大型なよび護部制能は共同事務所 高畑共同事務所高親代表より無路 大型をした。 表ピール氏さの間に會融を軽けた る 支ピール氏さの間に會融を軽けた る 表ピール氏さの間に會融を軽けた る 表ピール氏さの間に會融を軽けた る を表ピール氏さの間に會融を軽けた る はその意義、大学に襲つてる」。が、これま、出週期後で調節問題 九三〇年の一月 露支事性型の東行料網も、同年七月

第二次滿鳥協定がフル、サイズに た登輝する時期は遠く過ぎ、第二 遊ざけられるにいつた。滿鏡がいいはい事務所には前後 月三十日さなつたのである。 かり滿鏡ベルビン事務所には前後 月三十日さなつたのである。 かり離せざる訳をもらしてゐるのかり滿鏡ベルビン事務所には前後 月三十日さなつたのである。 なり離せざる訳をもらしてゐるのかり滿鏡が小だとしてある。 と流鏡さしてれるにいつた。滿鏡が一次滿鳥協定がフル、サイズに た登輝する時期は遠く過ぎ、第二 遊ざけられるにいつた。滿鏡が一次一点

きね。ゆゑに除程の運管無引率がグラ瀬圏間はわづか一四四里にす

0一九二四

南北滿

洲

見られる。ゆゑに比श問題、もたとなりには南州四五がに選すると おまでには南州四五がに選すると かれまでは九月

華商の取引経無

際氏獣骨頭にそれ いんだい

市

況

元

式質質

人氣引

産

あ東新は三圓三十錢安に寄りアト の東新は三圓三十錢安に寄りアト が前 常 限 先 限 銘 柄 常 限 先 限

海標金

ll:安高寄

七三六兩五七三八兩二

東國客情 九 二 商 會 東國客情 九 二 商 會 東國客情 九 二 商 會

錢 新 銘

剑

歩。寄引寄引寄

| | | | | | |

我の立す

満鐵の主張は當然 Ollic

渡さなつてゐるが三井は運よく発

銀塊及爲替

興味の中心を外れた拂戾問

(四)

3

Œ

式交渉開始ま

また産党線の活動を云々す 12出入戒党戦に内海航行艦船に對江出入戒党戦に内海航行艦船に對 船舶規定改正

ス米國務長官

派アメリカ國称長官スチェソン氏」 領の世界軍艦促進の重要使命を擔

してフナ 統外 外出

の増加があるの

生蔵においては

五三一十七項 月月月月月日物 棉

限 前場寄前

安 值 (15.50) 115.00 (

衝突で 一 なばずであっ はずであっ なばずであっ イタリー首様ムツソリ

哈市日

本商議

大阪綿糸

正副會頭互選

この狀態持續すれば 賣掛代金決濟に支障

別なという。

黃麻作

本年度黄麻佐付藤村激減

比較すれば質に百四十

の一、背線直積二、

西國中央銀行 割引歩合引上げ

十二錢五厘驚陽二十二錢五厘驚陽二

に同情の閃き 安田さんも時

央銀行は八日左の如く公定割引を 央銀行は八日左の如く公定割引を を の個人資附は六分五庫 業手形利率は六分か六

六月中

出來高

る錢鈔

二十四圓十錢

株(弱保合)

以期·場(保合) 先限

億八千百八萬圓、现物四百七

・・・
曾ては郵船の大騒動
を惹起
た安田さんも時に同情の
関きを 生産増 今秋は安から 者において八十四 有において三千 八萬一千五百圓

八百七十八萬圓後

は然に百萬覧を突破することは明年取りに経歴戦闘の城加により本年の時年八十餘萬覧を生産した州産の 質八百匁入一萬程を輸送があるて作業があるて作業があるて作業があって作業があって行 機組合では将來 於け、販給關係かであるさいふので、關東臘內果 高三千国にしてこれも成前月より 高三千国にしてこれも成前月より の百五十五萬餘圏を増加した、なほ 五錢にして最低は

◆現物前場(銀建)

本見 (銀速)

本見 (銀速)

本見 (銀速)

本見 (銀速)

本見 (銀速)

本見 (銀速)

上東高 五十車

出來高 三車

出來高 三萬五千枚

五 油 一六六〇 一六五〇

出來高 三萬五千枚

五 油 一六五〇 一六五〇

出來高 三萬五千枚

五 油 一六六〇 一六五〇

出來高 三萬五千枚

五 油 一六六〇 一六五〇

出來高 三萬五千枚

五 油 一六六〇 一六五〇

出來高 三十二〇 一六五〇

出來高 二車

包 米 出來不申

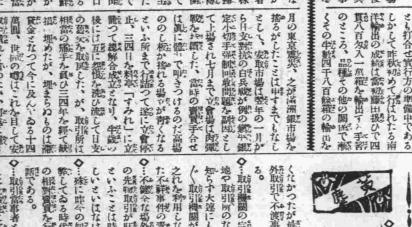
包 米 出來不申

あるため各類際は野菜に腐心して 掛代金の決済に支障を來すおそれ

滿取繼續總會

開か

る



のさころ、品種その他

こてお低することとなった とてお低することとなった

外の対象でで ・変素で ・変素で ・変素で ・変素で ・変素が ・変数が ・変が ・変数が ・変数が ・変数が ・変数が ・変数が ・変数が ・変数が ・変数が ・変数が ・変が ・変が ・変がが 職市場では健衆 地で都建してる場所が 、 をでは、 をでは、 をできる。 できる。 でも。 できる。 で。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 で。 で。 特産界や輸入

大豆 三九三二車 豆油四〇六〇百箱 豆油四〇六〇百箱

を行いては、 を行いては、 はは、 はは、 はは、 はないで、 を行いて、 はないで、 を行いて、 はないで、 をでいる。 をでい。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 をでいる。 備してゐない 鈔票五圓臺 塊暴落

◆定期取引(單位錢) 類 近 至人(图 五 至 五 至 2 0

7.961.9 674.3 213,8 468.2 計 115,070.9 48.691.4 豆槃 946.9 1.611.0 4,358.1 19,159,3 1.976.0 7980

12.1 386.3 263.0 284.1 78.4 1.050.5 57.5 45.9 874.7 2,190.1 30.0 4.755.3 551.8 7.120.2 900,0 144.5

142.4 子 939.4 落雜豆 花生 1.703.7 767.5 穀粕粕骨油 10,069,9 2.168.5 鑵 慰豆 101.2 3.730.5 4,469,9 其他ノ油類 粉 墶 酎 77.9 セメント 464.7 1.071.6

大 黑 屋 数 堂 数

九市三島

無効返金薬 セル 倉小 厚 司 山 大連市信

本證明市場

電話四五七番

岩里家の家傳秘薬

御利用領ます (規約書送呈) 初心者の為めに特別便法あり 出動の好機 信用第一 町前羽市連大 莊錢通利 掛六五七四記章

●芝梨行 編壽丸、七月十日後六時 ●芝梨府 編壽丸、七月六日後五時 東高縣縣 ●命令定期大連瀬戸内線 東西寺品行、照國丸、七月六日後五時 東通舎布行、照國丸、七月本日節七時 中門司字品行、照國丸、七月本日節七時 中門司字品行、照國丸、七月本日豊時 中門司字品行、照國丸、七月本日豊時 東高縣縣人に限り二割引致します 大連市加賀町三〇 大連市加賀町三〇 大連市加賀町三〇 大連市加賀町三〇 大連市加賀町三〇 吉成製版所

網目銀版」寫廣石版

新(高四二) 鐘新

◆名古居濱行 東豐丸 七月廿五百十大連 汽 船 林式 會社 電話代表番號四一八五番電話代表番號四一八五番電話代表番號四一八五番電話で大連敷島町) 電話で、1 和 公 司 電話で、大連敷島町) 電話で、大連敷島町) 電話目五二六五・四六八一

松浦汽船大連出帜

新纱豆柄◇ 品 纱 豆 柄◆ 後

引寄引寄引寄當

三八 三八 | 鬼

柳寄值 高值 安值 大引

① 大連汽船出帆

◆上 海石房11 大阪商船株式大連支店 電話四二三七番 國際運輸株式大連支店

世 海行(第山丸 七月蓝山代 理 店

東新(引置)

一阿波共同汽船

キューナード六船會社 部客業務代理店 朝鮮郵船株式會社大連代理店 朝鮮郵船株式會社大連代理店

大阪商船株式大連支店

・門司神戸大阪行生前 大阪 商船

一日本郵船出帆

近海郵船鼓出帆

-横流行

一朝鲜细船速帆

一十十十九八七

でらごめ丸声芸言李浦行松 江 丸 岩羊音 漢紫行

度十分の地監師ち今のコトハーア

た建てたのである、オランダの此 ドヴィナ河口に達し、今日アルハ

船で、北西航路の際帝に出策した次ぎが一五八五年六月七日二隻の

た、寫真は開議にのぞむ二関僚石幣原、左原拓相萬寳山朝鮮事件對策協議

過報告を得並に朝鮮における鮮支人の研究及び鎭壓薬につき意見の交換を行政府は本日の定例閣議において幣原外相原拓相より薫寳山事件のその後の經

北洋航路を

もう黄金繋に浮かされてゐたので一般調金鯱を満載して本國に歸つたのだ。

るこさは出来なかった。

日

脚の餓人陸迎は今や高潮に塗する 一郎吹の餓人陸迎は今や高潮に塗するので北流における支那一次野路込み事務覧を有無ないはさ

人體日本側の主張を容れて

東北最高會議で決定

本側の主張を容れることとなった、なほ朝鮮事性は東北側は一切これに予與せず中央の處水側の主張を容れることとなった、なほ朝鮮事性は東北側は一切これに予與せず中央の處北平九日簽別顧問するに東北最高較部會議は萬實山事件は純然たる地方問題とし 十一日林總領事が歸奉す 愈よ本格的に交渉 るので本格的交渉を開始する模様である『奉天電話』

を派遣

九日大橋總領事より

|南京特電八日襲||外交部は今回||正式に決定する事ごなつた

東京特體九日襲 朝野大性に監 本に意見一致しているが公。 本に意見一致しているが公。 本に意見一致しているが公。 本に意見一致しているが公。 を記してあるが公。 を記してるるが公。 を記してるるが公。 を記してるるが公。 を記してるるが公。 を記してるるが公。 を記してるるが公。 を記してる。 をこしてる。 をこし

支那官憲の鮮人 壓迫根絶が急務 なった

ゐる【長春電話】

奉天でも萬一を警戒

「さう大きい難かするもんちやな

賦提供湖中込次第型錄進呈

の人代を概念を 農業諸團體

環瀬を許さぬので總領事館ではい、 で転が在満内鮮人に加へられるか、 関係がでは、 ので総領事館ではいかなる。 満盤公所長の各氏が経譜し、十間 島、森陽。 脈村の各領事及び入江 原村の各領事及び入江

台併に反對

川四名を不法逮捕 公安局の武装巡警が踏込んで 居留民會長等

三地方の戦人は約六千名であるこ

排日ビラ

長春署で活動

附屬地支人に

らの地で職称をさるため傳書様を観光の主義を言うるつたが更にこれというという。

欧正文巻を前にして實行に着手す搬を定め近く開かれる運送契約の

する、でなくちや、秘密の名がれていて脚ツ飛ばすやうな好もかりましたのに眼もくれなりま

始《完全等學習用華語教科書生

佐々木盛一先生著

五百頁 定價金貳圓五拾錢 送料十二億

譯

れー実晴れー

1.800CC(- 4)\$5.00

ルピン總領事前に保護がから影響されてある、なほ(戦人代表は九日ハれてある、なほ戦人代表は九日ハれてある、なほ戦人代表は九日ハれである。なる。

第二のため響級に関し協議した

と 名地農場 鮮農

東亞物業公司が

の各農場主任を搭集一様力その個人を翻探中『長春電話』公司では九日公太堂」、ある事養見したので長春場では

東京特電九日發』郵船淺間丸は

1444- 11444-11444-11444-11444-1

於各博寶會品評會名誉賞牌受領

發行所 洪中日文化協會 | 發賣 奉無職害店。按順三文英堂報行所 洪中日文化協會 | 發賣 奉無職害店。按順三於東軍之教堂。據順三於文堂。據順三於文堂。

さして喜んで推薦し得るものである。
さして喜んで推薦し得るものであるが、一般業語學智者の為にも良師友著者は多年流鐵所學檢定試験委員さして、殊にまた華語教授に經驗を有するの人であって、本書は該試験を標準された中國語である事が必要條件である本書はこの主旨第3出來上つた腳支が精練された中國語である事が必要條件である本書はこの主旨第3出來上つた腳支が精練された中國語である事が必要條件である本書はこの主旨第4の書で見るが如き日本語を直譯的に譯出したものは質用には甚だ縁遠い、

米東洋觀光團

哈市鮮人學校 夏休繰上決定

共産黨策動か

十萬圓浮かす

政府の財源捻出策

務省を廢止し

大橋總領事張長官に 一一、緊案の可及的解決 一一、緊案の可及的解決 後り六十萬圓以上 | 繁地報論會を開催する事を時と合理の中に数へてる るさ述べ今月中に第一回臨時財政 | まし」週間位で速院の見込みであ 約により切詰め

開欒炭礦

回收方針

本年十月廿二日杭州で開催の豫定である第四國太平洋會議に邀還省である第四國太平洋會議に邀還省

太平洋會議準備

よ、二度さ明んで戦くわけぢやな「名なんかごうでもようござんす

何さいふたかなあ?」

| 田發する『奉天電話』

「交奴ですよ」

「まあさういふな、名だけでもき

大連辻利ビル内

同じ飲むなり

エイクンを

礼氣で励め

嚴重交渉を開始

その他につき殿軍戦労を行ふ事さ 十二百餘圓は一二十二百餘圓は 職算面によるさ 窓中で大陸中央、地方麻政府の分 は目下際薬炭礦呼吸の生態素をおいました。 に見て 大陸中央、地方麻政府の分 の

立で

(27)

歌お前に相談があるがきいてくれ

…ごうだ女奴、我

西伊

之

助

にして、お前が見立て、我歌に一歌さお前ほこれから一娘色縁なと・概談さいふのはほかちやない、我

資本

積

立

金 金

壹億壹千五百萬圓 壹億圓 全額拂込濟 「待て、待て、さう早合脈するな

構造-計算-鑑定

宗像建築事努所

宗像主

大連市連鎖商店街広小

建築一設計一監松回

ロみづき 畵

四十萬四千二百

長春有識者の意見

き、それは泥酔し切つた概分で 或る市場合の

い、坐るだけなら坐れるちやら

「いやです。あんた、勝手におさ

一瞬に唇を持つて寒た。 「にをするんです!」 好は長い裾をボンを動つて室外に繋いて、選子はさび起きた。彼 彼女の體にかぶさつて

我輩お前のやうなのが好きなんち 「アッ、ハ、ハ、ハ、猛烈ちやなひよろ、ひよろさしたが、極介 酔つてゐるのに、くるりで素ば 軀をひれつて、入口のドア

「まあさう意無っ張るもんちやなないが、野暑はいはね、間夫があなり添れてやらう、アツ、ハ へ軀を押しつけて蓋にしてしまつ これア都いな、戦悪でも、もつ 歌しさうに、電子は叫んだ。 鮟鱇のやうな口をあいて笑った

> 川北製 芝浦製

Λ

電話回0九0・支店奉天長春安東・鞍1

三菱製

型

天 五 井 用

六

卓

酷暑迫る、

御申込は今直ぐ

質は浮び上ること

御子は「将脱」を聴ってゐるや だれか來て下さらないんですかり「ごいて下さい!」 さもの分りがえいよ、管館では」 ていやはや飲みぢや、湯州観者も

がしながら、世の中の脳い気をみかしながら、世の中の脳い気をみ アッ、ハ、ハ、ハ、こいつお配む て、魂のある人間ですかられ!して、魂のある人間ですかられ!してんまか、その意気!その意気! 「帰が離らいもんですか、あんた

「あたらは、あんた薬鬼が愉いんです。 さくきらわれたもんなやな」です。あんた薬鬼が愉いんです。あんた薬は勝手であられる人です。あんた薬は勝手であるたるです。 「あんた、そこざいて下さい む、そんならも一つ楷談があるし そこざいて下さい、

の鎖を見るのもいやです。あんたのそ 「それもいやか、さて、さて、 かがしなさい!」

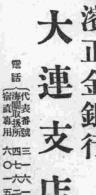


大生出張所 | 東京、東京丸ノ内出張所、名古属、大阪、神戸、下闢、長崎、東京、東京丸ノ内出張所、名古属、大阪、神戸、下開。長春、哈爾賓、新華、明直、カカラグ・マン、イタビャ、シドニー、・倫敦、新華、東京、東京、東京丸ノ内出張所、名古属、大阪、神戸、下闢、長崎、東京、東京丸ノ内出張所、名古属、大阪、神戸、下闢、長崎、東京、東京丸ノ内出張所、名古属、大阪、神戸、下闢、長崎、東京、東京丸ノ内出張所、名古属、大阪、神戸、下闢、長崎、東京、東京丸ノ内出張所、名古属、大阪、神戸、下闢、長崎、東京、東京丸ノ内出張所、名古属、大阪、神戸、下園、長崎、



電話 衛山東州 六〇一五番 一六一番



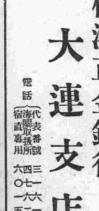






大連市大山通二番地







欧亞聯絡

極東方面へ進出

聯盟主事滿洲も視察

上参院者の総事懐を調査は、無順院職事の総事を観察して、無順院職事を視察して、無順院職事を視察して

機東方配進出は種々

満鐵正副總裁の赴任

調も其一つであらう。

膽と明と 首脳に何を望む?

大連市會議員 社員の温室氣分を一掃せよ

の内、既の一に黙しては新低正訓總裁の ・ は、 でものが、それさもおぼろ月夜。慰夜 ・ は、 でも、前任者に対して居つたさし ・ の概念は、総とが、それさもおぼろ月夜。慰夜 ・ は、 でも、前任者に対して居つたさし ・ の概念は、総とが、それさもおぼろ月夜。慰夜 ・ は、 でも、前任者に対して居つたさし ・ なが、それさもおぼろ月夜。慰夜 ・ は、 でも、前任者に対して居つたさし ・ なが、それさもおばる月夜。慰夜 ・ は、 でも、前任者に対して居つたさし ・ など、最大なる原因は歴代高級な ・ など、最大なる原因は歴代高級な ・ でも、前任者に対するさ同様の恋 ・ など、最大なる原因は歴代高級な ・ でも、前任者に対するさる「様の恋 ・ など、最大なる原因は歴代高級な ・ でも、前任者に対するさる「様の恋 ・ は、最大なる原因は歴代高級な ・ でも、前任者に対するさる「様の恋 ・ など、最大なる原因は歴代高級な ・ でも、前任者に対するさる「様の恋 ・ など、最大なる原因は歴代高級な ・ でも、前任者に対するさる「様の恋 ・ など、最大なる原因は歴代高級な ・ など、最大なる原因は一種のでも ・ など、最大なる原因は一様な ・ など、最大なる。 ・ など、最大なる。 ・ など、まなな ・ など、まなな ・ など、まなる。 ・ など、まなな ・ など、まなる。 ・ など、まななる。 ・ など、まなな ・ など、まなな ・ など、まなな ・ など、まななる。 ・ など、まなな ・ など、など、まなな ・ など、まなな ・ など、など、まなな ・ など、まなな ・ など、となな ・ など、 ・

られ、其他れにしても成績は溶集 の新常騰者へ期待の第一は此大原 に成する質に「朧」さ「明」さの に成する質に「朧」さ「明」さの

さすれば、特殊の大局を観るの明時支那の銀道を見給つて其敷腔に時支那の銀道を見給つて其敷腔に なかつたさするならば脆なかりし

東に外に繋するの成否さ功罪は 東内部的素固に質ふ所大なること 東内部的素固に質ふ所大なること

離上照井長次郎氏の「最近滿州特 ・ 出席者の主なる人々は月田、 認利 ・ 出席者の主なる人々は月田、 認利

では九日午後二時より支配會議会 において、昨年以来、全國各地に において、昨年以来、全國各地に では九日午後二時より支配會議会 が谷關係學者終三十名の参集をご

査定延期

横井建築事務所

大阪三品引高

當市も聢り

工工學學生士士

内以行十五

迎歡書投

打倒帝國主義へ

支那紙は吠える

人は刺鈴産物及び刺鈴資本を経 たは野成するとは出來ない。生 には野成するとは出來ない。生 には野成するとは出來ない。生 には野成するとは出來ない。生 には野成するとは出來ない。生

が生じ、資本家は帝國主義者を副主國と同じの間に不自然なる競争

殉經濟信用維持に

非常時金融令發布

五千萬馬克を利用

事官武内財務自代理な出席せるむ本代表は大陸コンドン松山商務委

ーグ條約

七日より開會 委員會議

滿鐵販賣部節約

五年度間接費の成績

で飼料化普及の機談に入り午後六

すっに依り少しの機械的雑音なく強大なる肉壁を得ら再生電氣蓄音機さしては完全なる自動ストップ付電氣

撒水と市民道徳 一次日本職で遺路振除さ膨水について山本党君の意見がのせられた、こ既一懸はこだものやうでたったが、非科學能さいひ配始能さいひながら君自身で修科學能でがながら君自身で修科學能でが表するが、非科学能さいひながら君自身で修科学能が表しているなが、非科学能さいのなが、非科学能さいのであるが、非科学能さいのである。 ○ 本はできる本職において機水は一 一等道路よりも駅の三等道路板 に衛調車の観響に通る道路に力 を入れて置ひたいこさを希照 は特に膨形勢き、即ち衛期車道路 では、一般の知るさころ、この衛 では、一般の知るさころ、この衛 では、一般の知るさころ、この衛 では、一般の知るさころ、この衛 では、一般の知るさころ、この衛 では、一般の知るさころ、この衛 では、一般の知るさころ、この衛 では、一般の知るさころ、この衛 では、一般の知るさころ。この衛 では、一般の知るさころ。この衛 では、一般の知るさころ。この衛 では、一般の知るさころ。この衛 では、一般の知るところ。この衛 では、一般の知るところ。この衛 では、一般の他では、 では、一般の他では、 では、 の道路に繋するを解析の他でも、 では、 の道路に繋すると、 の道路に繋すると、 のでは、 のでは、

脱水する向ふ側の酸人にその歌いばかりに、よく摺形し

都市に住む市民の道徳 都市に住む市民の道徳

に除會するに決した旨招歌國たる

「東京特體九日發」フーヴァー大 大決定すべきヤング歌徹会の投稿的織目 を決定すべきヤング歌徹会の投稿的織目 を決定すべきヤング歌徹会一ケ年 出日を以て第一回會合をロンドン

| 「東京八日登」米佛の意見合致に が、同興門家會議に出際すべき日本代表決定に | 「一大大学に」 | 「一大大学に | 「一大学に | 「一大学に | 「一大学に | 「一大大学に | 「一大学に | 「一大学に

公平を目的の満鳥協定

改訂の理由が

15

歐亞聯絡會議は相當の收獲を得た

村上滿鐵理事歸

旅行者の

大内大尉の除禁電大尉に黙さたの如く陸緩緩他では八日大府の除禁軍大尉に黙さたの如く陸緩緩他では八日大海軍少佐 海軍大尉 大内 伊六 佐海軍少佐 『北平九日登』ベルギー公使ワル と一氏は過級死際途血で療養中の 駐支白公使逝去

だった。 が支所さの打合せを終り、九日本 が支所さの打合せを終り、九日本 が支所さの打合せを終り、九日本 はこれ等戦行豫算に関う権威を見るに至ったので

◇現物後場〈銀生〉 大豆(釋物六三五〇 六三六〇 出來高 二十軍

標金ボケ 當市引聢り

紫外線透過硝子アクメウルトラビット 中川 商 電話四三十三 電話四三十三

和音前サット演奏電話四上四〇番電話 三八三三番電話 三八三三番電話 三二五〇三番

常盤糊工舍 外山ラヂオ商

ラヂオ専用 御申込み次第説明書 定價九十八個

製モーターミラツバル美麗な箱に取めて立派な装飾品で ラデオの本場米國の一流
会社の製品でラデオミ蓄音機用

柄巧なる単一調整に依り各遠距離局共自由に分離聽取増幅さダイナミツクに依る驚く可き強大なる肉聲ラデ

東新衛門門

內地株引高

當市も聢り

幸職のために市民の個々が努力 市民の共に分攬して、全市民の 協力は

等具機能な意見を有せずして後 ちに屈理解を並べるのみが勝れ たる市民にみる態度ではない、 たる市民にみる態度ではない、

チナル會社製品

元三二二三六 元三二二二八 〇〇二四〇〇 ラ

デオ界の最高權威

滿 銀弓道部数師石原七觀翁

連嫌生高がにこの程の三月まで酸 ・ 変撃核に動め、六年前來連して大 変撃核に動め、六年前來連して大 が、その間糶里福間で鮮立高等 が基核に動め、六年前來連して大

家 道

おし天晴れ!四段の腕まへ

石原ミネ子さん

の心のも

号流女

日

勤勞節約

(可認物便郵種三第)

み望の私

たくし

石田豐

さ

W

には可なり殿い楽園さ花畑がほ

おうちなもつてゐる。

んなる

指布程識附知名樂店にあり

金壹

Ł n

デシン

大きく腹い夢の

お

ほきく

て廣

もつこ子供等をまるまるこ肥らい変された態度の多い温かいお

油

は

敵

は大

今

!!

求職者が増えた

市營職業紹介所に映った

最近の著し

女中を澤山使ひすぎま

るるのは今店る子供等の子供等の子供等 うの姿が自要のニコくしたい お婆さんになつて、取答いて 、お婆さんになって、取答いて

學校や中學校

加えた、内地に於ける就職難の 世界 は二十歳前後でこの頃は最高十二 に比べて四割が安くなつたが機底 に比べて四割が安くなつたが機底 に比べて四割が安くなつたが機底 に比べて四割が安くなつたが機底 に比べて四割が安くなったが機底

代に比べるさ成程遺憾なく合理化 園ださいふから大連は良いがだり

は充分出て來ますと、結局女中一 ものごい無駄があつて、いろくく 考感とますさーケ月十圓位の無駄 ほせですから野菜や魚

演

0

甲 日

けますと一層風味を増します。このに細くきざんだセロリをふりかれに細くきざんだセロリをふりかいて供します。このは、ドレッシング、又はマヨネー

材料胡瓜、獨活、胡瓜獨活の共

日の丸が見ゆ

大に銀月四十圓標ふ脚定になりまた。 大に銀月四十圓標ふ脚定になりまた。 大に銀月四十圓標ふりはやめて洗漉 が女中ななががでしかも手懸し よく出來ます、それだけでなど、 ・・ですから性の愛にでめて洗漉物 は洗が女中低せにして家か外に対してなく ・・ですな家庭はごうも家庭が合たく ・・ですなら性格館に被窓でしかも手懸し ・・ですなら性格館に被窓が を発音して家か外に遊ぶ ・・ですなら性格館に被窓が を記がます。それだけでなく ・・ですなら性格館に被窓が を記がます。それだけでなど。 ・・ですなら性格館に被窓が を記がます。それだけでなど。 ・・ですなら性格館に被窓が を記がないたがは、 ・・ですがない。 ・・ですがるとした。 ・・ですがるとした。 ・・ですがるとした。 ・・ですがると、 ・・ですがると、 ・・ですがると、 ・・ですがると、 ・・ですがると、 ・・ですがると、 ・・ですがると、 ・・ですがると、 ・・ですがると、 ・・ですがる。 ・・ですが、 ・・でが、 ・・でが、 ・・でが、 ・・でが、 ・・でが、 ・・でが、 ・・でが、 ・・でが、 ・・でが、 ・でが、 ・でがが、 ・でががが サイレン鳴り燃く中に灯消えて大都市の夜空星明りなり

なく消えてひそまれる眞闇の中におよづるる心

もれり間の中に消燈の洩れないましむる撃

なつたりして恐るべき酸結果を揺 時をおきて頭上にならす高射砲のさどろき大いなり真闇の空に

をの家庭を明るく活魚のあるもの は大連工業専務桝田煮道氏談』 「大連工業専務桝田煮道氏談』 「大連工業専務桝田煮道氏談」

いさなし試おアサ

第の目に切り難で冷したよのですをリスはキャペツはよく洗って をロリ又はキャペツはよく洗ってすりが、これか前の鳥類に加へてサラド、ドレツシングさ混ぜサラダ菜を配に敷いて中央に盛って供じます

ます、バイナップルは小さい姿のトの帯の付いてゐた方を少し切りとつて芯を少しえぐり出してなき去つて芯を少しるた方を少し切り トマトを熟悉に通してぐ取出して

なく、

「なく、

「なく、

「なく、

「なく、

「ない。」

「ない。」
「ない。」
「ない。」
「ない。」
「ない。」

「ない。」

「ない。」

「ない。」

「ない。」

「ない。」

「ない。」

「ない。」

「ない。」

「ない 三五二十十 五一三十

堂然天岡師總本張寺 No81

合五四三二

9 間 各

援

造阪市

元遊川

仁西

住日

速會株區町社式大

t

滿洲總代理店 本 連 市 浪

日

辅导方国巴丁四阳录浪击逐大 院醫富安 響のの五氏話電

大連 精詰洋行

日下曲科器

頭痛

應募期間

發 表

案用 と書

◎やさしくてどなたにも出來る課 重なる虫三つの名高級カトールの登録商標は何印か

好評湧

二周年記名 念賣

入磅一。入磅半。罐平類種 す賣販でに店貨雑店藥名著の所る到滿全

主婦自ら 家庭を明るく活氣づく

で的典古とんな

自た來出に前年五十五百 テッカリメアにがする。たらまめ初い動運ふいて人なローボ車轉自は 創るこ時间は車轉自もそもそ。がすで第次るれらせる心懸ニャンなだ。 のうせでい少は方るさな答明くら恐らた出に歴間線試て人なかたれら 車轉自るれる催開でヤイフルデライフの國来中毎は寘窩にげ揚に、こ 七一ち即がれる。がすで車轉自いこら珍の種り變たれる陳出に會覽展 れき用使れら作てつよに人スンラフてめ始年五十五百らか今 o年六七

oかんせまりあやじクツシラクたまさンナ oすでのなのもた トンセーバ百味風

にのせて更にフレンテ、ドレッショ り抜いた中につめ、お皿の上に締のたいタスた敷いた真ん中

位本側樣客御對絕

有地ドルラ後

條町街條街 安哈四開鉄 四年(重定用)

齊元

秦 天 春 日 町 安 東 縣 市場前

週

行

弘阿平金小東中甲山中 ミ 豊榮山高能ッ石上金天金濱近かス高 ルク原枝光土光田江ぎり治 著時時堂時堂樂 音計計本計支器洋商界 會本泰久澤川原崎道 時 保 成 樂 文落時時堂 音計計本計支器洋商器

NO. 60 ¥ .60.00 米國デユーリヤム社製 ウキー ク 蕃音器

現品先渡し致します一回掛金御拂込と同時に

高

瑞

四五

建昌

寺西廣の養島

鼻 湯 信濃 町市場

百二 百

名名名名名名

<u>手</u>千百十十十

ます、これに赤熊な添へて供しシングで和へてレタスの上に盛



の目に切り、これをサラド、ドレ き、獨活は薄く胡瓜は二分位の姿勢胡瓜を獨古は河れら洗つて皮を剝

賀洋 質洋(音) 第二二二〇〇番

金金金金金金

チキン、サラド

千百百百百百千

ルをお買求めになった販賣店の所さ

神家の必要なき為建設事館では 事さしまる七日一代書類のみを率 事さしまる七日一代書類のみを率 を推領事館に深致した一、二重役 天建領事館に深致した一、二重役 天建領事館に深致した一、二重役 大地である。

鮮支人衝突事件防止につ

奉天居留民會の努力

馬匪賊討伐計畫

公安局十八萬元支出

e K

本年の高粱繁茂期に馬鹿賊の横っち窮するに至つた、この狀態で

回人の遊興費を組合負擔に轉嫁

高粱の繁茂期で

二十三萬石を突破したが騰がは約 高並に登沙河艦田が館の所贈州内 高並に登沙河艦田が館の所贈州内 である、機になり既に日本石敷にて である。機になり既に日本石敷にて 製鹽の内地行

鬱憤晴らしからの犯行

奉天の鮨屋殺し

往來

●…・乾隆帝盛京の賦では立派に時代されてゐるが継章さか近、章 原に過ぎなかつだ附賦地――其原に過ぎなかつだ附賦地――其原に過ぎなかつだ附賦地――其

●…夏は紅塵されれこめた梅雨、

奉天居住外人

科醫

康は手近に

(非寶品)圖入說明書



ノーシン!! 頭痛リ !!!

遼鞍庭坪戰 青年の悩みは何うなる? と得

(F)(E)(D) (C) (B)(A)

マッコー南京山・最新町でサーバーでは、 ・一、大学のでは、 ・一、 ・一、大学のでは、 ・一、 ・一、大学のでは、 ・一、 ・一、大学のでは、 ・一、大学の ゼット」の威力

日本賣藥會社 電話六一三九番 振替貯金口座大連二番

一始終てしざ国玄康健

店門專鏡眼

極京街續速進大

八五二二二 話型

(四)

田原

安東公會堂で開催

修養團講習會

伊室片大八三平安尾佐岸森塵森

板挾みで 邦商とむ

岸森庭森

庭森

營業稅問題

分成のカボラ

。りためしせ有存を能機

射放線外紫め靄るめしらな易容を收吸化

の観明

北方出張中のさこれ

中 乳 一升五合 この榮養價

す敵匹に

大連總代 商會藥品部

支店

全 滿 ブボカ 販賣 聯盟薬店 にあり

清成度 姙ヒ 神胃 血老 化長勞 振テ 経腸 壓衰 整促症 前リ 衰障 降豫 調進弱後人國害下防 血骨體 乳結 不性 心抵抗 液質力 汁核 眠碳 諸婚 增强强 增諸 服碳 諸婚 加化化 加症 症退 症大

見よ

!!

金|円|十

易容用服も兒小。人婦

金金金十五二 円円円

小婦肚老見のののの

・・・・一時間意識を除書されるから夏の日の鐵廠を除書されるから夏の

西水浴の

九十五萬七千三百三個で前月に比一般交換高は二千七百七十四枚、百都天総合銀行における六月中の手

七六五〇七二〇四七

電燈料の

値下

でよ紙者は死れの野はファンの

手形交換高

天

、拂出口組合員 於高金數員

11:0、五四〇、六〇 11:1、六三二口 1:1、六三二口

海栗な三十一日より十五日間衛在 海栗な三十一日より十五日間衛在 海栗などの影加あり草野衛生衛服 を記載しる場合の影加あり草野衛生衛服 がまるに

取八六七五番

大連西通·常盤橋·西廣場中間 電話七五二八番

0

能可变甲变取额

江

隆 建大店中

見る

夏

物

荷

親麻だが

浴衣

からに軽快颯爽

凉

IE

断六八四一番

就山輸入組合六日では大の城し

兒童温泉聚落

月業績

瓦

房

店

山獨立守備除第六大除所屬看護 除隊の看護卒

中国 である、然のを見れならば離ししてもる、然るに対してもる。北平大學教授の大郎である、北平大學教授の大郎である。北平大學教授の大郎である。北平大學教授の大郎である。北平大學教授の大郎である。北平大學教授の大郎である。北平大學教授の大郎である。北平大學教授の大郎である。北平大學教授の大郎である。北平大學教授の表している。北平大學教授の表している。北平大學教授の表している。北平大學教授の表している。北平大學教授の表している。北平大學教授の表している。

白帆

は此印に限る

算盤の御用命は

整紙 性産の良の三山島紙 性産の良の三山島紙

丹後町二三番地

天帆

此印に限る。純生産お使紙は

邦文 印 書 態 一 吉野町一萬堂 電話

14

海陸運送 通關代辦

金州一定期二回

大連市武歲町七 增田貨物自動車運送 電話七三七〇番

實印の御用命は

佐志醫院

紫岐阜灯燈、燈籠

Ł

五品 綿糸

焼してゐるが試合が摂ば九チーム 鐵關保較式野球大會は出場軟體九 が加めている。 が試合が試合が摂ば九チーム

だ白 よ

時に二派さか三派が軽値し時に二派さか三派が

見童の水泳

モミ 療治お望みの

迅速に配達致します

四六九二番

電六七八二

金元商會氷部

院 醫 江庄場馬

前四六八八番へ 八六八八番へ 八六八八番へ

産内

婦座人科科

軟式野

球大會

日午前九時より猿公園コートに然て全観山底球部選手欄坐部戦を際では來る十二

庭球部爭覇戰

貸間 二階八疊六疊押入付

るを知らず盛會裡に競會した

ク

四六九二番

大連製_氷

ハ七五八話電・話橋盤常連大

B

場馬ルトクド

陸上競技大會

日運友新機車區の優勝戦を得った。 り其の後保安は棄権したる為め七い が保護に勝ち右三チームでリー では、変なけ保安を十一禁四にて歴 関係のでは、なり第一様では、 では、ことなり第一様では、 では、ことなり第一様では、 では、ことなりませい。

職の形態質によし質にうがてりで の形態質によし質にうがてりで ある▲輪組の二十名がモラトリア ある▲輪組の二十名がモラトリア

びされて延期の止むなき状態にあるになってゐる性側の水學校見載さになってゐる性側の水學校見載さになってゐる性側の水學校見載されて延期の止むなき状態にあると

なが、天候恢復を待つて九日から あが、天候恢復を待つて九日から 決行さるとこさになつた館耕職は

貸家 南山麓柳町電車通鐵ケ池

高員 支那服の準備を 大連寫眞館業在

冟

眞

附屬地商務會

嶺

★貸付及回收額貸付及回收額貸付及回收額貸付金二〇件件萬一千八百九十六收二一〇件十萬一千八百九十六收二一〇件十萬一千八百九十六收二一〇件十萬十八回後、回收益</li

加希望者は曝宛時し込まれたし合計十二三個あれば充分であり

一戦山小學校では葬幣科庫線見重ながて來る十六日より二十九日までとれて來る十六日より二十九日まではがて來る十六日より二十九日まではがて來る十六日より年後三時冊分ま

遼

、現地四萬八千九百四十八圓二十四圓、滿鮮九千七百三十二十四圓、滿鮮九千七百三十二二萬九十二萬九十二萬十二二萬十十四百

◆権大家では故親吉氏忌明に際し が法寺、小學校保護者會、慈善 人の最も関係深かつた各関機に 人の最も関係深かつた各関機に 金一封宛か贈った

官に戦容人員は滅滅子千山在住者約一部十名が突代にて出校も休暇中に

を開催するを開催するを開催する

华田氏送別

會

智名活 和美

地委茶話會

勤務演習召集

等十名が交代にて出校し休暇中に、激闘子保健學校を解説し監校訓

春輸入組合六月分の業績は左の

輸入六月業績

兒童夏季聚落

歳の高齢者であつたさ

園使用料規定制定の件其他務所會議室に於て定例會を負會では十日午後二時より

午前二時半途に死去した葬儀は九日は鎌て病氣のため称養中の處八日

太田氏母堂奉天署司法

安奉線ところどころ 二萬二千三百四十二個の減少を減い、十六個の増加である又之を前年六十六個の増加である又之を前年数でれば三百十八枚、十十二萬千六百 原田專務重任

集金を横領

普

蘭

店

1311、四一八個

に提出したに提出した。

鬼を施行する底で多熱影響を希望を整むここになったが展留民食でを響むここになったが展留民食でを響むここになったが展留民食でを響から思慮といて盆の施餓鬼を変したが展留民食で 盆の施餓鬼

新た。 一般では、 一の集金かなし此の集金が百個 ででは、 一の集金が10個であるが10個であるが10個であるが10個であるが10個であるが10個であるが10個であるが10個であるが10個であるが10個である。 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一般では、 一個では、 一のでは、 低の取職を受け栗城自由したので引地麻刑事に逮捕され非上司法主 と共に身柄を佐藤刑事室の九時二十三分養列車にて

出中の駅前に野も砂筒袋を贈るこれを明報のではられた撃み黎明婦人會で大連ではられた撃み黎明婦人會で大連ではられた撃み黎明婦人會で 職つて震災等の機能を認るのと西職のて震災等の機能を認るのと西 は此際特に義務者に之が燃煤を命

女中

入用星ケ浦

井町魚店

電九五九二番

乳母

八用出產後六七八八月出產後六七八八月

警官に慰問袋

満電旅順答業所では今夏源水浴の 高整蓄音機が備へ電話又は教育的 の音樂を聽かすそうで目下準備中 である ルに蓄音機

の急行で來鞍着任した の急行で來鞍着任した

郷は同縣に於て承合されたいるが有職書は來る八月十日遊に旅順職務差出せば便宜販機ふ出で倫談を取り、出て商談を記して便宜販機の出て商談を記した。

語學講演會 邦文 邦文 (午前・午後・夜間) タイピスト養成

夏家 河子海岸 俊 夏家 河子海岸 俊 山縣通 福徳洋子 電八二、 東三階十、四半階下 東三階十、四半階下 東三階十、四半階下 金融に開発を ムシ

| 大車沙河口大正通会 | 大車沙河口大正通会 | 大車沙河口大正通会 | 大車沙河口大正通会 西公園町六九

森口福久堂

軟梅書下疳病 性病

濟生醫院 病

通勤家政婦 病疾事-切一日一圓 病疾事-切一日一圓 病疾事-切一日一圓 病疾事-切一日一圓 病疾事-切一日一圓 病疾事-切一日一圓 新聞に關する御用件は 電話 (茶館川 四七六七 新聞に関する御用件は

学生では、 全年が他・見 他のなかなから と思いない。 に関いない。 キムラグサービス 夏の超サービス 旅順市敦賀町角 20三二 ラ

小中 學電

=

2

店服臭やすびる

女學校御指定絀

方。商

> 頭痛 大連市山吹町一〇六 林 農 園 大連市山吹町一〇六 大連 山 羊 販 賣所 牧

に何よりの榮養料

配第御 毎報 達日女 場

羊の乳

しました。別に顾代は頂願いたしませんのよい(徳用二本人)化粧酸を用意数

お話セハ六七 金融機関 一回四六電·五二町野吉連大 美味、爽快、滋養の結晶した飲物 カルピスを贈るのは これを贈るは健康長壽を祈る真心 物と心とを贈るのであります カルピスは 故。 物と心との贈物

満 日案内 三拾錢增 古本遊戲電 ミシ ン新古教館で 六六〇一番 | 大津 ボーズ 天祭堂 | 大連 ボーズ 天祭堂 | 大連 ボーズ 天祭堂 | 大連牛乳株式會社 | 大連牛乳株式 牛乳バター

果樹は平年作

溝渠等を浚渫

有給林

街来談あれ至

● 本 ・ は親切安價な店へ多少に ・ 満洲牧場 電話六一三四 ・ 満洲牧場 電話六一三四

社員 医面骨日通知す 姓名 在

西品 券勸業 八〇一番比婆洋行低利金融沙河口巴 在 松林町三五濱屋 釣具店 松林町三五濱屋 釣具店

中 大田十日午後五時より六年、一六四林園藝商育電三九九〇番一六四林園藝商育電三九九〇番一六四林園藝商育電三九九〇番一六四林園藝商育電三九九〇番一大田十日午後五時より六日十七歳位急奏復歴書持る。

來起號 五五七番

小見の虫 ●筝三絃教授 若狹町廿四電六六七二 山田硫 碣 谷 秋 翁 〇 ⑥ ⑥ ⑥ ⑥ ⑥

躍活の屋質

秘密嚴定 管確实

若狹屋質店

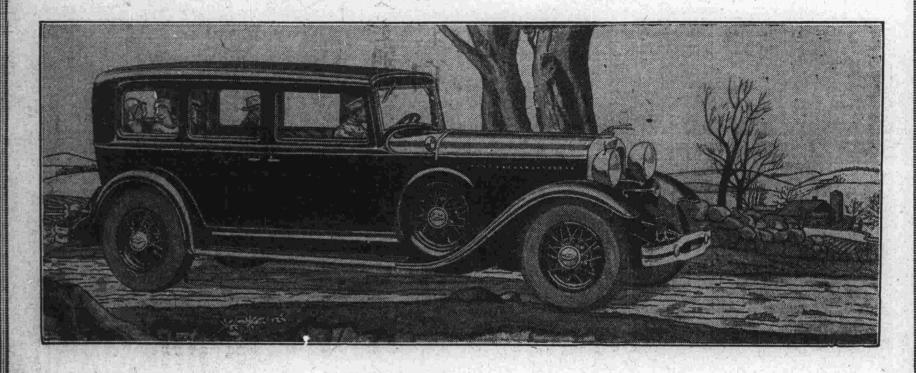
カルビスはカルシウムと、ビタミンカルビスはカルシスと、野白質と、諸種の態態等を原料を助ける酵別菌を加へて、自然酵酵をがける酵別菌を加へて、自然酵酵を対ける酵別菌を加入て、自然酵酵を対ける酵別菌を加入て、自然酵酵と溶化を味味味の上ない合理的飲料でございます。

清 凉 美味 滋 强飲料



(日曜金)

新リンカーン號



七人乗りリムージン 一尤な誇り

只單に輸送上豪華な乗物と言ふよりも以上に新りンカーン號は天賦に 恵まれた者のみが持ち得る特談——高尚な趣味——の表現であると言 はれて居ります

タオヤカで而して一見スマートな舶の様な感のする外観・其の優美な流線な美と機構の精との完全な融合であります

廣々とした室内仕上の素晴らしさ・装具の優良さ・如何なる微細な部分に 就ても新リンカーン號は最も優れたる特徴を有する自動車であります 强大なる馬力・フリーウキーリング變速器・長きホイールベース・廣 い幅・長きスプリング・低さ重心點——此等の新しき特色はリンカー ン號をして寬いだ安全で愉快な乗心地のする世界最高級自動車としま した・

特約販賣店

大連モーター・セールス商會

大連市山縣通百五十四番地電話八五四六・七六九六・工場ニー八八〇

上海フォード自動車會社輸出部

『フォード』は常に『サービス』を同伴す

祖皇が一門大戦。



街 銀 途 行洋田内 ^{掛八五八 四電}

が大連肛門病院

御相談に應じます。電話六五四四番ス

株式會量 松 下 商 店

ぬらい切舗

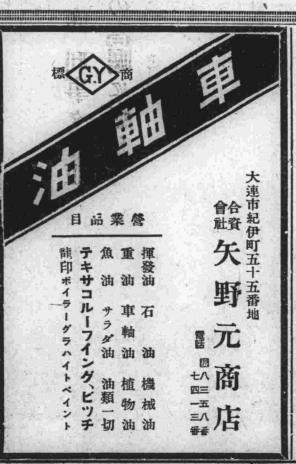


八合の例へはあるがこ の う ま さ

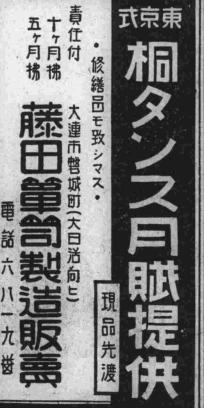














0

U

新風景

に水着のマネキン

船で必死の手配で連絡を保ち同電局はこの見込に從って北洋各

空中給油

と共にサン一百ガロンのガソリンを満載して徐一るここになつた、この規則による即刻通知も、ナー氏搭乗のフォード給油機は五 る十三日の市會に市長より提案す較を保ち同(『フエアバンクス八日登』グリー(俳人波職死亡総典規則を献定し來

御揃びに、泉太后座下を御訪問につき十日午後一時四十五分照

皇太后樣御訪問 兩陛下、三內親王

力地球の中間

では十日未明で見られるので落石。 では十日未明で見られるので落石。 では十日未明で見られるので落石。 では十日未明で見られるので落石。 では十日未明で見られるので落石。

の態波送信機は頗る優秀で六月十七年には、一年局端のアメリカ、カナダ風部では、一年局端のアメリカ、カナダ風部では、一年局端のでは、一年局端のでは、一年のでは、一日のでは、一年のでは、日本のは、日本のでは、日

傭員給與金を

落石局緊張

なため観楽の登録は非常なものさ を表されるが響良職、数を然、

根室通過は今夜九時

無電の連絡に

はマイクを飛行場さ飲迎食場に一はマイクを飛行場を飲迎食場に一かりが洗送されるが、放送局

給油機と雁行

フエアバンクスを通過

太平洋横斷のロ

E

1

ス機

初診者病別

名、眼病十三名、耳鼻口腔の疾患

馘首反對を叫ぶ

各省に運動を擴大

界各

图

酒類

食

料

00

雇傭員大會

土なる協議事項

第一日(七月廿一日午前九時)

一、親辭 一、就辭 一、為部大臣諮問事項審議 一、然議事項諮議 一、然議事項諮議 滿靈地方部學務課長

競技會における選手

科を體育科さ改稱する 手資格に関する

適當なる種目如何(以上丁中等學校陸上競技會に

高温地方部単数 に協議々題

主事會議出席者の

オリムピツク競技會

で質に関する方案(山口・の質狀に鑑み體育運動

連の両部大連野球 郷産の阿部大連野球 小倉喇氏の

はなられる器配れたりこの」は現代である。

2 # 12

東京帝大學生

酒渍

二十五名處分

大連電易保険健康相談所取扱いにするでいた病類が第一位で計れ名、では必然が第一位で計れる、ではないのではないではないではないではない。 第二位で大は十六歳以上は働かに七名 (東京九日餐) 滅俸

指導の下に被 が一体一質のを 後二時省内に 、大き命令、後頭に塗背した個所を でき命令、後頭に塗背した個所を でき命令、後頭に塗背した個所を でき命令、後頭に塗背した個所を

般民、

商

トワース號は管地に左い通信を投

二人共元氣

約九時間で連絡 九月試驗飛行を行ふ

文化理髪の魁

在港第二遭外放艦球際軍糾員二十

手榴彈投擲演習

電気 は電氣使用致します

漢智を得ひ良成績を纏めた 東墨さ計鑑高地さの中間にあるナ マコ山において養養主機職の快騰 除名は九日午前九時から敷場湾南

AK中繼放送

る事さなり、(旅人にさつては経典 一ケ月分以上、一ケ年分以内に相、 でする速職経典金を支給して貰へ でする速職経典金を支給して貰へ 新取締

施行する

北陸線で一地陸線で

所に土砂崩潰起り二個所所に土砂崩潰と、気石間及び谷濱、名立、気がい谷濱、名立

る時は非常に優遇される器であるこれを滅鏡會社の傭人等に比較す 退江丸を

また臨機 器を通じて一覧に施行されること するカフエー・バーさ腕百人の女 するカフエー・バーさ腕百人の女

新事質發展かかれいので然しく大津海外に神俗ちないので然しく大津海外に神俗ちないので然しく大津海外に神俗ちないので然とく大津海外に神俗ちないので然として地域である問題の遠江地、九日突然が出る問題である問題の遠江地、九日突然が出る問題を再調に乗る。本館文書談に、一日神に乗つける。本館文書談に、一日神に乗つける。本館文書談に、一日神に乗つける。本語は、一日神に乗つける。本語は、一日神に乗つける。本語は、一日神に乗っている。本語は、一日神に乗っている。本語は、一日神に乗っている。本語は、一日神に乗っている。本語は、一日神に乗っている。本語は、一日神に乗りが、一日神に乗りが、一日神に乗りが、一日神に乗りが、100世に、10

滿鐵傭員より待遇が良くなる

來十三日市會に提案

きり規定する

あた。 動気での一般なる ができる。 できる。 でき。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 でき。 できる。 できる

辭表を撤 役員 智光院で

埠頭の「花召しませ」

愈よけふから始まる

おいても見送り出理客の便宜を指 たなるが監べ出帳うらる丸、大連 が出来を添へるものご弦話に新し であるが監べ出帳うらる丸、大連 が出来を添へるものご弦話に新し が出来を添へるものご弦話に新し が出来を添っても見越して花費りを開 た。 であるが監べ出帳うらる丸、大連 いまなった。一方地脈に することとなった。一方地脈に する。

ームに五股の監察な十至湖へ、近 ・でのでこのがも十日より割用に供 ・でのでこのがも十日より割用に供

市内駅地須町九八無料管河所智光 門五號上港中の本田(第言(まごが九 門五號上港中の本田(第言(まごが九

厭世自殺 部も苦楽したさうだ

-BA

E-BABY-9EA5-PA

5-PATH

販

賫

店

泉大山岳部で壯學計書

の巨峰

十名内外で明春三月日本を出

ないこといんだ ところが、整に際して飛び出し でから、奇妙な恰好で前のも を拡か上げてゐる、驚いた中 のを摘み上げてゐる、驚いた中 にいやらでますく、巻数したが苦 が被等には「チイな事げろ!」の整合が被等には「チイな事げろ!」の整合 かき収めてますと、整成したが苦いやらてますと、整成したが苦いから、

BY-9PA5-PA

り半パテーベビー

御家庭で

の活動寫眞機

添は れぬ 悲みに 八情死

五十男ご二十娘ごが 譯を聞くらはした 一般になったこの説問をして通

家電建 具氣築

理

古田巡査部長射殺事件の犯人問のアンベラ小屋を養見した中心のアンベラ小屋を養見した中心が部、、第時な中をゴソー(建ひが部、、第時な中をゴソー(建ひが部、、第時な中をゴソー(建ひが形)、

かながら、他そのま、表へ出るのこと、て塚が明かゆ、そこでのこと、て塚が明かゆ、そこであった中心響呼、大場一整「手

川総合長続め全役員は触表を撤回 で関の領観を擦滅したさころ、自 を新歌し、改めて監督役を通じて こ希歌し、改めて監督役を通じて

W 並用用用マート D 総大連大理石製作所 大連市千代田町三六 **BY-9** ブリット(擬大理石) NS-PATHE-BABY-9网5-PA

頭痛

殿軍に調査せらめるこさとなつたせしめ、殊に無許可女給の有無を して、該當するやうに指示して、該當するやうに指示 衛生軒總本店 た中川義治智部 でス はシミスの登音

第廿五回社價 至四月世] 田五百圆券 金 卷 圆九拾錢第廿五回社價 至四月世] 田五百圆券 金 拾九圆五拾或錢 金 卷 圆九拾錢

光烟醫院

欧米各國高級の一元の御贈 か贈答 大連市伊勢町サー をを

舶來化粧品專門







事

珍 11 全 ぷら も始めた かなだ 吉頸町 並井 柳川なべ

造元

八十 一圓卅錢

面白~映寫出來ます オサル洋洋 行ス行行 1 (連續新銀座道) (西通 九三) 9 m

バラーベビー 最優秀、最低廉の九ミり宇 ・ 最優秀、最低廉の九ミリ宇

=說明書進星=

るれ質でメッキたれ放飛 **胃** 腸病穴

舖 本

田 日

中 東京風菓子謹製 元 品 0

日本各地名産

時まで交通職練デーを関施するが 勝田は非番全員を召集し立番、遊 スピード調査、諸車及び歩行者の 取が、進上放棄物の取締なご

蚊、 南京虫ヲ殺ス(発養店ラウ)

けるは交通

訓練

選して、減の裏で叫んであるなん れッきり使の音楽はもなくて、 新を辿って行った老人のだは、そ を がでいる。 がであるなん。 だいる。 でいる。 でい。 でいる。 でい。

今津化學研究所

南京出の居た海所へ の合せ目、其他南京出用(赤甌) イマツ郷取粉を屋 の合せ目、其他南京出用(赤甌) が、数にイマツ郷取粉を屋

イマヅ姉妹品

機孔の奥から苔太郎の繋が聞えるもれてな?
・老人さトンネルの機械にかゝるもれていた・一本ルの機械にかゝるがしていた。こんないでいた。こんないでは、一様孔の奥から苔太郎の繋が聞える

移

-

「あ!」 で、とこのは外の音太川で で、とこのは数がずからもちあが つて、を物を戦へた仁木環正のや のは、からもちあが

京」〇人以

って、ありまさにさかきの横孔

七月十日午後七時三十分

退

連」」のAN

様子既に足をかけて、躊躇なるには、ア!

関(雲盃圏)連・倶樂部々(界栗の花)三蛇富森大検

脊血吹雪有馬驅動〉

京出、其他害虫類 京出、其他害虫類 京出、其他害虫類 京出、其他害虫類 京出、其他害虫類 京出、其他害虫類

あげ蓋を押上げてゐるんでした。

の物防さなりますから、是非實行せられたいをマケは惡臭を止め、難ウジを殺して傳染病をマケは惡臭を止め、難ウジを殺して傳染病

防さなる。

「はてな?」 一ろんでしたん

六

一般は!」
一般は!」
一がは繁世窟の河の東から苔太 で返事を待ち合つて一一事を歌が、このようの呼び繋が陽然反響のやうに遠く響き合つて一一事を澄まして返事を待ち合つてるた苔太郎となり、

仙窟四台

「おウい!」

確に人の整だ!ごこからするの をいにいなんでもた。 でいた。

はてな? おいらだりこ

ではいるないであれるができる。 でいさも耳のせるかでもん。 では、となってあれるができる。 「おういだ生」 二人は時を同じくして耳を消ま

咽喉一杯な兜の壁です。

ルの焼は石臓でゆきざまりです。シウーマッチをするさ、トンネシウーマッチをするさ、トンネ

なんです。 「おサい!」 「おサい!」 や度は耐ふの蓄太郎の難です。 がよく、蓄太郎に違びない! 鹿はマッチの繋を擦つけながら 鹿はマッチの繋を擦つけながら 「おうい!」「おうい!」「おうい!」「だかい?」「だかい?」 さりあへず鬼は返事を返してみ 大連 坂本平鶴子 大連 坂本平鶴子 移物先や、ことい子が遊びに來 程供等に移動の友を知り 大連 質 相 大連 変 甲 主急便居所不明で舞戻り 大連 変 甲 大連 変 甲 大連 変 甲

蠅ばかりでなく、

「おウい!」

頭

0

虱 退治

治が出來る。(一回の槧代一段以内)

電動もおさ同様二回くり返せは、完全に退毛風をこっそり退治する秘法

放送し

衛生大掃除は配倒で味がになり易いが、此際徹底大掃除は配倒で味がになり易いが、此際徹底 種腦の十倍以上の効力あり。

四個、書籍には タンスの押出しは

日本紙の薄いのを三寸角に切り、蠅取粉を茶焼め宮内省で使って頂いて軸ったのです。 新指大にひねり、 とに八分目位入れ

恐れは少しもなく

03.4

居る箇所へふりか け、すり込み置け

| 対な絶対に寄せつけず、夏ヤセをせぬ。 | からもう一度やれ | がらもう一度やれ 犬猫の蚤、虱、ダニ退治 大震動は全滅し五 大震動は全滅し五 大震動は全滅し五 六日後卵が野へる

大谷前風の居る を表示しても をまる をまる をまっしても をまっしても をまっしても をまる をまる をまった をまる をまる をまった を

のですから、虫類に直接カケる必要は絶對にありません。 ●螺其他の虫類は蠅取粉の香(虫には毒瓦斯の働き)の爲に死ぬ

いやな油虫退治

は、わけなく池虫は皆様出して死んな皆様出して死んです。アメリカ

かうすればわけなく全滅します。りでなく、他の虫類も 内の空中に、蠅取粉をパツ~~三少 量マイて置けば、十分間位するこ、 がなころますから、其れを書するこ。 落ちてゐますから、其れを掃き出せ、いのです。 ▲蠅の全滅法

(N)

虫。

(175)

雄

明發士博學理國佛津今

畫作

が、蝿は勿論、以上の虫類の外量、趣の羽虫が、蝿は勿論、以上の虫類の外量、趣の羽虫を お 苦心研究の、寒気特神薬では、左配へ と ひ一縁は必要であります。到る魔の商店にて 最 ひ一縁は必要であります。到る魔の商店にて 最 ひ一縁は必要であります。到る魔の商店にて 最 ひ一縁は必要であります。到る魔の商店にて 上照真を止めるイマツ芳香油 きゅる 解解イマツ蚊取線香 牛馬の虱退治 蠅蚊除 品を専ら使用してゐる。 イで置けは來なくなる。 簡單な退治法である。 とってくると、マートのであるから、 とってくるともりした。 これが一番安價で 臓は本品をカケ

王親の物進御

な

あてほつさした模様で打覧ぎ早家の楽連日の宴會攻め、配官人の職場とれてるたに歌歌表もがに、 といいのでは、まる六月中観歌任

歌迎會に出席

油下氏 この香港丸は妙に

る時、正副總要並に職夫人等いった、船が正に埠頭を離れ入日正午神戸を 地根京、既、神の各名士多數見送 でない、船が正に埠頭を離れ入さす

地数 有るには有る、だが然らば で何か話せさいはれてもとン 上がなければ思ひ出せのて ・ 地質は? 地質は? 地質は? 地質は? 地質は? たごむうつかりいへなり なごはうつかりいへなければ地質 なごはらっかりいへなければ地質 なごはらっかりいへなければ地質

方針は調査の上で

事態を惡化さす

支那側有識者の意見

浦荫

張作相氏、 張學良氏の諒解を得 問 方針

日急遽奉天 に歸る は朝鮮機管軍司会部で目下一致と は朝鮮機管軍司会部で目下一致と は朝鮮機管軍司会部で目下一致と で、 本学ではいるまでもなど、 本学では、 、 本学では、 、 本学では、 、 本学では、 、 本学では、 本学で 本学で 、 本学で 本学で 、 本学で 、 本学で 、 本学で 、 本学で

を執るに一致と結局王正廷氏をとて餐處せとむることゝも骸骨とたる一般心脈が全般の意識は自戴暗鶥を等を誅滅して萬事自分に一低されたいと述べと呼の議論大いに沸騰しては目下総意調査を逃りてゐることがという、王正廷氏は外交監局の立場から者に関しては目下総意調査を逃りてゐること等を誅滅して萬事自分に一低されたいと述べとから雷議が被害者に對し充分補慣の途を逃れるること等を誅滅して其目下総意調査を逃りてゐること。 土正廷氏の善處に

國民政府外交部に言明

の職会に選した駐日平安 からより の職会に選した駐日平安 からなり 、八日午後二時過ぎ外務省に幣原外 、八日午後二時過ぎ外務省に幣原外 、日本後二時過ぎ外務省に幣原外 、日本後二時過ぎ外務省に幣原外 、日本後二時過ぎ外務省に幣原外 、日本後二時過ぎ外務者に幣原外 、日本後二時過ぎ外務者に幣原外 、日本後二時過ぎ外務者に幣原外 、日本後二時過ぎ外務者に幣原外 幣原外相を訪問



の第一位さいばれ校舎全體を見る時は「個の数」 は正門の一部

思よ判官補充難

就職難の聲をよそに

大連地方法院が

俸の減額で

心した陰時の強震談があって盛會心した陰時の強震談があって盛會 俺は六十五歳 杉本老秘書の辯

が起り盛つてゐる 物の言ひ方が 年職場際り に ダリヤ信りなんだ「あつものの」 ・ なら呼ばれるだ「あつものの」

サピーへやつてゐるさ火事が氣 になって深付かない」 になって深付かない」 失調だが、館 特調だが、館

小柄だがガツ

の大時化で寺見識に上つた昆布 をがは訊き返した。

してもはづからくない」下手な「洋子は大遊安全でもります間 草遊屋上つたりの軽だ。 「小夜子さんが安全でもります間 「小夜子さんが安全であります間」 …そこでもう一つ何島へ帰へませ

応して概さたいのです。 れたお願へしてよいか、其處を指 なてくれたまへ」 質は特し度いこさもあると、お味 「麹町の一千五百番かれ… やがて彼は受話器が取り上げた解決しなければ不可ないと思った 自分の手で それからもう一所へ電話をかけ そこで何うしてもこの事徴は、 自分の勢力だけで

もに代時氣景不のこ

雨降 眞の日支 地固まる 入親善を望む

製鋼所問題は早く片づけたい

選正副總裁記者團と問答

お、て左の如く間答したやうだが 正副機裁は關門記者域この會見に正副機裁は關門記名域とた内田、江口溝鐵 の病氣見舞なごさ

拓相訪問

朝鮮事件報告

母件に端を發した鮮 電文の交換をした するやうにいはれてゐてさうと 記者 仙石總裁のさき合にも質現 から早く何等 に暴に報ゆる に暴に報ゆる

通してする積りか

旨提案する事になり十三日のま

一應日紙に歸って研究と

人港線定の香港丸の主なる船客能

かしら?」 乗して先がの女の撃は、冷笑能

新しく研究し直すさいふ意

いものである
は現場の事情も腑に落ちるまでは現場の事情も腑に落ちるまでは現場の事情も腑に落ちるまでは現場の事情も腑に落ちるまではまいか
はで、まいか
はで、まいが
はで、まずるさまた水くなるのではないが
はで、まずるさまた水くなるのではないが
はで、まずるさまた水くなるのではないが
はで、まずさまで方針を強かれてもがさまれた。
は現場の事情も腑に落ちるまでは一つた。まずさまってある。たぎ就任三週がさば、別にどの位滞在である。たぎは日の本になっている。

令【東京九日發】 杉浦

齊

食堂の席水を筆ふものはパラガ 蛇角

明むた、これには向ふも自分を職 に来國を立つた、來るかな。 太平洋一番飛び、今度はホント 0

だってくれ、だが腰の地盤は 前、除つてくれ、だが腰の地盤は がして、たが腰の地盤は

た補充地官……大阪 郷の奇瑕象を外に法院が郷の寛軽でヤー 職職の野を外に法院ばかりは採用

ら韓田するこさいな

樞府顧問官

内閣でウント戦服るここを言ふ。

「乃木城アメートから何處へ移し」 い勢力を眠さいふ程、知悉してる 感してゐる黄料なるものと、感じ

適應症

の事を荒立てるのが一番危険だ)

では、大学の治療とでは、大学から近るドルの 大学から近るドルの発素 大学から近るドルの発素

銀行用ポケット型 五十級

整勝、錯痛の諸作用完備、一十の削製、殺菌、消化、收十の削製、殺菌、消化、收 ヘルプは から十五年の間、この師のきびであつた。िなが手をさつて数へ ■元の作を譲られたものだった それは謎の琴の師が、愛用の で こんな細工は致しません。出来 や るのかけます もしません。布もかけずにおお に濠山は 記憶の力は、どこ

これは名人の假つたお奉ですのに、妙しも狙つて居りません

「永年おつかひにならなかつた

「今の職人は、手間を惜んで、

所と人間には地い。C一九三一・六つ

ラうか、帯教へられた 安の館、母の館、母にこれてい、顔かつけられて居 ぶれ難い思ひ出の寒騒である。の 記憶の力は、ごこ 飾の門をたいいた少女の日の、こ、高れた眼をさら かぢかんだ手に敲をかけながら

感道に縁進した か、今年は師が 師の酸粉が、繋が、ほう かのぎして現れて来る。桃は少なの皆に完全にある。 の世界があり得ることではないの世界があり得ることではない

箏の師のこと

の変まできながらに現れて続し

理的事態及び特産物の紹介に努め

市公園規則改正

育に就任されて居り且つ福府町大臣の帰路の御沙汰か拜して職

反對意見はこれを阻止して權

會見極所厭酷能發際の内閣を求め 京の大田離遇問題解決を待ち子さ 京もた、なまな機能根は關所厭餓 京もた、なまな機能根は關所厭餓 一等別談に解答中 商工學校寄附 齋藤實子爵歸京

大連商工學校は大正八年十二月天 金打切 設立されたものであるが監告

歳のり

の申出であった、然るにその後氏「武村の代理でございます」
は大正九年九月二十六日に大正八「あゝ然うですか、で、ご用は」
は大正九年九月二十六日に大正八「あゝ然うですか、で、ご用は」
は大正九年九月二十六日に大正八「あゝ然うですか、で、ご用は」
は大正九年九月二十六日に大正八「あゝ然うですか、で、ご用は」
は大正九年九月二十六日に大正九年より
「きやう、今朝たしかに拜見しまった。」
「本学蔵に報付不能に立ち至つた、其處「で、如何でございます。お手でまる六月二日家事の都合によりの要求、お入れ下さいます。お手でまる本方事間は「役之職し軽敵を紹介」
「本語したので動けが成立事情になった。親正はそれには早速には答べずい見込み立ち離いから野戦の分二 親正はそれには早速には答べずの見込み立ち離いから野戦がつ。
「今何處に洋子は居るのですか」
「本語本事になり十三日の市會へこの「小夜子さんは今何處に居ります」
「は広葉なすゝ事になった。」
「本語本章になり十三日の市會へこの「小夜子さんは今何處に居ります」
「本語本章になり十三日の市會へこの「小夜子さんは今何處に居ります」

では四谷の三千八百番へ、電話やいますやう」 がは著(てゐるやうであつた。 「モスで電話を切つて了つた。 をこで電話を切つて了つた。 しばら の間默つてゐた。

お際へしたい場合があつた時に…「電話で質女から訊かれる前に、「電話で愛女がら訊かれる前に、 「あゝ成程、さようでございます 順三

三上氏講演會山縣通り三本和氏の講演會は十月午後七時から編生高女講堂にて開催の答 異あるな以て之が統一ないようさ 史

9在產破。康健-腸胃*整、 盛夏。備公 ブを 用ひて

李明各有名献店に販売す

旅行に

ITO

心强さ 限りな

友人總代

秦佐河

思主清重

親戚總代

天気総の

東京着は十一日朝四時頃と フ號同乘者ジ氏語る

に女給一抱へて居る連節

館がカフェ

夏中休暇利用の

學生團續々來る

八日發』アメリカ飛行

フエアバンクス緊張

愈よ出

太平洋一番乗目差し

歡迎準備を

は八日出着縁家の處天鉄不良のた | 腕氏のメリー東京間無着陸飛行

を大内大尉操縦離戯八十米突の高 を百米突に緊索大尉「懲死し飛行」

信局一個を設ける事さなつた

佛機出發延期

午前八時五十九分)東京へ向け太平洋横斷飛行一番乘の壯途にヤトル八日發』ロビンス機は八日午前三時五十九分(日本時間 に【寫真はロビンス氏】 **逃路**を北に

一 中時三十分スチュワート衛を提供 中時三十分スチュワート衛を提供 のでいた空にを変のアエヤバンクス午後八 に変い上空にを変した速度の関 に変いた変した速度の関 明朝九時頃 本に見出ずであらうない確りだ。このプロペラーの

『東京九日教』ロピンス・ジョーンス嗣氏の太平洋機節機は外電所 地の城と撃定の百里に足らの八十五里か出して居り今後東京までこの速力を載けるさすれば故地響までにはシャトル費から六十時間をでにはシャトル費から六十時間をでにはシャトル費がら六十時間をは、 豫定より遅る 連鎖街エロ戦線に

無認可女給が牛敷とは

一昨夜の一齊臨檢で暴露する

早速科料のお目玉

各方面ご聯絡

女給制限を

馬小櫻を愛惜

勞苦を共にした警官の手で

營業者に通告す 近づく女給失業時代 陸軍機墜落か

八日午前十時間至、宮敷郷州長以 つたが帯中に臨家懐死したもれ日午前十時間至、宮敷郷州長以 つたが帯中に臨家懐死したも

『シャトル八リ 登』ロビンス、ジョーンス瞬氏は七日來北太平洋答言ーンス瞬氏は七日來北太平洋答言していたが、千島方配は響太の南

長距離用として

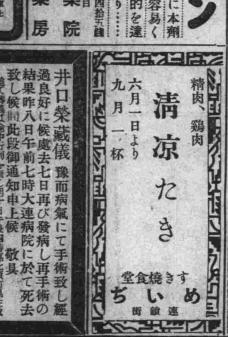
目信を語る

山發直前のロ氏

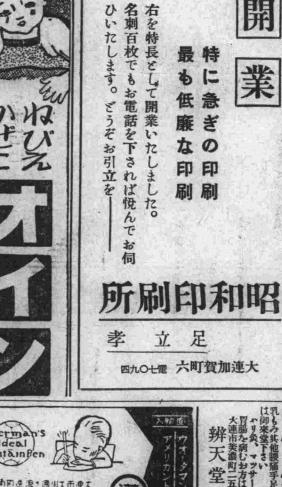
記をはじめ、脚城計 をはじめ、脚城計 を大に撃祭別に が終別に

墓標を樹て靈を弔ふ













大內大尉慘死

『東京九二般』李建公殿下された。 御部版式は十月紀めの御歌であらせたが、九日正式に数談は一次。 御部版式は十月紀めの御歌であらせた。 で李健公殿下には同日午後宮 で李健公殿下には同日午後宮 で李健公殿下には同日午後宮 で李健公殿下には同日午後宮 で李健公殿下には同日午後宮 で本健公殿下には同日午後宮 で本健公殿下には同日午後宮 で本健公殿下には同日午後宮 白 一殺者激增 ふもの六月に入つ 十五名までが支那人であることもい現世苦から隠れ が自総率が多い、さらに自総者のに関する、女四名で男のが | 日置きに二名の 三日に二名の割合ひ

一兄を重りにして海中へ 自轉車を乗り損ね密輸失敗 いのも現代屋の現はれである 歌歌歌、失忠、家庭へ和などが参

てる講演放送を行ふさ

百五十點餘

觀

作

品

世界風景連作版米國篇 フランス現代名作家の創作版

社版木澤見高

浮世繪原版書の参考陳列

浮世繪古版畵の複刻品

官派遣所認可 白菊町の警察

に夏のナンセンスにしては京し過

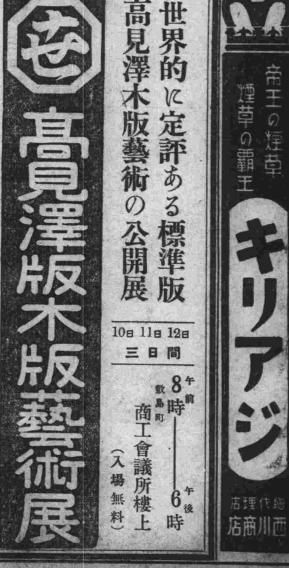
早苗校生徒が

贈答品 大連三業組合では自治を大連三業組合では自治にある。 三業組合で 善後策協議 ける臨時總會 か河口器では壁で関東殿に电議中であった台東町市を伝えを経済を 活動所は七日階をもつて認可されたので同場では直に市社會駅では を派遣する客である を派遣する客である を派遣する客である

注目されてゐたが上田、吉田國監 を一時が紅場像上に於て際催する 後一時が紅場像上に於て際催する に決定、役員總針戦後の著後處置 行されるが、溝鐵側出場選手 馬術豫選會

開 業





おいては計百名の減量であるさ

けふ勅許

御結婚 李鍵公殿下

木版藝術展



を選擇した 魏 果物及肉類罐詰籠入 の御道物葉巻。 美行说代 東京風姓 菓子 95 洋 サ 洋 食 7 菓 酒 ポ ゼビス 料 紙 0 品 卷 ケ 籠 煙 箱 " 入 草 詰 入 ル 界 の 王 の煙 用途あるの 逸本 も新らしき 調楽庭向 王草 の全 믮썛 果物蜜、 佃 浅 清 + 洋 煮折 > 草 生 凉 入 グ 菓 果 海 T 飲 ブオ 物 干物籠 子 + 苔 汁 味や付き 箱 1 籠

詰

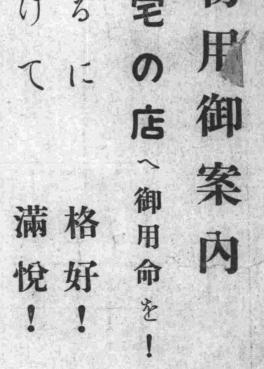
グ

λ

99

手切品商の宅

通 山 大 連 大 番 九九一五表代話電





能校公所がその服否能なのだ。 のは職職後に終ける鑑賞の天井知 よっていまり、ほし酸配の身性単微 だっこを がこ 1 一直で 1 を 1 を 2 を 2 を 2 を 2 を 3 を 3 を 4 を 4 を 4 を 5 を 5 を 5 を 6 を 6 を 7 と 7 よで 1 を 6 を 7 と 7 よで 1 を 7 まで 1 を 7 を 7 まで 1 を 7

關東地方大

震災で牛潰れ

大戦

勞農石油シンジケート

おるため谷郎酸は紫葉に腐心して

ては郵船の大騒動を惹起し

滿取繼續總會

開

かる

愈よ南滿や朝鮮に進出

ペールピン氏を派遣して調査中であ してべくかれてハルピン通酬部の ト飛海シンジケートでは南浦に進 トなり近くハルピンの冷海シンジ 大一ト部覧パモイロフ氏が主任さ でのが、解戦方廊に変り出すこと

大月三十日の定時株主総會で議場を開いる年果代館を育したま、著後 一世事の調修郷まり手塚理事の調修郷まり手塚理事

はれたる南

これ鳥蠟の湖定縦纜の通告がそれに関えるもそうくと

たさひ鳥鐵が競争の結果

大連黙奥地特定融間の大豆、雑数 物取引さへ得ばるとのであるが、 物取引さへ得ばるとのであるが、 がまする大統領フーヴァー氏のモ ラトリアュ標案によって銀價の反

能 用あるもの、健寛なる取引を妨密 に大豆椒三百車の不渡川駅で手腕の 大き有の不能事代であつて資産館 け 監 八萬園に達してある、行邦職が浴 の小統論は過去に然ても絶えず世 八萬園に達してある、行邦職が浴 でかったものであるが、今風の畑きは 寒益さ大豆買紋をなずに至ったの 未き有の不能事代であつて資産館 け 監時 大豆椒三百車の不渡川駅で手腕が浴 かん は 大豆椒三百車の不渡川駅できる

0

一九二八年秋の出残り期を控へてりを逃れば自ら明白なものがあるりを逃れば自ら明白なものがある

通ぎなかつた。しかも

の東行政策に烏鐵が提灯をつ

資産信用を無視の思惑取引で

安田さんも時

油大豆(出來不申) 柏(强調)單位厘 柏(强調)單位厘 村高值 安值 大引 元 1102 1100 11.11量 100 11100 11100

未曾有の不祥事件

千車の

洲や通

九三〇年の一月に瀬く耶

高鏡に傾か考ふる所あるものとご 無線をかつとけ構成と金一二三萬

大満島原定は空文を擁したま、六 大満島原定は空文を擁したまり調節が質効

河豆の東部線透出等による約十七 大豆市場の未曾有の下濠のため南の下に南線物の東行遮透の砂密 大豆市場の米曾有の下濠のため南の下に南線物の東行遮透の砂密 機花汀の解状おくれによる る 江出入東京戦に内渉航行機制に対した要次の処き取締規定の改正を 行つたが、九日監地関係節所にも 「福務省經由入報あつた」 一、海洋航行我克に南市江海関ケ 船舶規定改正

なアメリカ國務長官スチムソン氏 も生い 電の世界軍権促進の重要使命を掘った掘った場 清極

マに到着

鮮支人の衝突で 華商の取引絶無 この狀態持續すれば

一本商議

五三一十十七現月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月月日日

神戸期米 前蒙奇前蒙引 限 150 151 限 150 151

株式 株式 株式 株式 株式 大阪株式 (株式 (株式) (***) (**) (**) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (***) (**) (***) (***) (***) (***) (***) (**) (**) (**) (**) (**) (**)

印度麻袋 印度 麻袋

賈掛代金決濟に支障

黄麻作

袋に無影響

中部の定期は依然何等特の材料 もなく大豆は區々保合を辿り豆粕 は強調を呈き豆油は属々保合を辿り豆粕

人氣引立す

當市弱保合

七三六兩五七三八兩二七三八兩二

産

市

況 元

高(銀貨金 七萬圓 尤

ぎの。ゆるに除程の運貨無罪率をとう浦鵬間はわづか一四四里にす

に同情の問念 今…満洲ドックさ大連汽船さの合併については關東脚に認可の信念があつたさいふだけで當の大流にはまだ何等の通知がない、七月一日から實施さあるにハテわかしいさ先づ安田大汽社長にお何いなうだし、さう情でる必要もないわける、こう情でる必要もないわける、こう情でる必要もないわける。他に従業員を不安しまった。

一四國中央銀行
お引きることで無事終了とた。三さ前日を飛ぎ聴ってあった。 割引歩合引上げ 二十二後五厘監膜二十二後八月二十二十二後八月二十二十二後五厘監膜二十二十十後で無職を方を引上を登表した。

以外の個人貸附は六分五厘 手形利率は六分を六

生産増 る銭砂中 出來高に於け

| 東東は結局機動の増加により本年 | 東東は結局機動の増加により本年 | 日本年 | 日本 六月中における 一億八千百八萬 八萬一千五百圓 者において三千者において三千

一、天へ、四元圓一、天へ、四元圓

田來高 三車
田來高 三萬五千枚
豆 粕 二二五 二一三〇
田來高 三萬五千枚
豆 油 一六六〇 一六五〇
田來高 三萬五千枚
豆 油 一六六〇 一六五〇
田來高 二車
田來高 二車
包 来 出來不申
一中
正期哈合高(八日帳入)
前日對比級
「中
日本 十七七年 一中
日本 十七七年 一一年
日本 十七七年 一一年
日本 十七七年 一一年

銀塊暴落銀塊暴落

指名がしたことは単すまでもなし ち日支黙院の時兵戦が側の戯や戯 たで、安政市場は翌年の一月か

7.961.9 6743 213.8 48.691.4

1.782.0

1.611.0

4.358.1

1.976.0

13.1

78.4 1.056.5

874.7 2,190,1

30.0

4.755.3

7.120.2

900,0

144.5

2.019.1

7,503.0

19,159,3

946.9

798.0

386.3

45.9

989.4

1.703.7

767.5

10,969.9

3,168,5

101.2

3.730.5

464.7

雅思里

57.5 552.8 雜豆高大 77.9

無効返金薬 セル 倉小 厚 岩里家の家傳秘薬 司

け病 別府林渠 一二日内服効なき時は 山 大 連 市信

御利用領ます (規約書送号) 御利用領ます (規約書送号) おめの好機 信用第一 出動の好機 信用第一





限限限麥

大連汽船 大連汽船 水

正 金(銀勳定)
日本向参着實(銀百個)空間空
同十五日實(同) 三十五日實(同) 三十五日實(國) 三十五日宣(國) 三十五百國(國) 三十五国(國) 三十五百國(國) 三十五百國(國) 三十五日宣(國) 三十五日宣(國) 三十五日宣(國) 三十五日(國) 三十五日(国) 三十五日(国) 三十五日(国) 三十五日(国) 三十五日(国) 三十五日(国) 三十五日(国) 三十五日(国) 三十五日(国

株(弱保合)

御来船切符發賣所 ッーリスト・ピューロー 大連伊勢町案内所(電土五五五四) 一大連伊勢町案内所(電土五五五四) 一大連伊勢町案内所(電土五五五四) 一大連伊勢町案内所(電上五五五四) 一大連伊勢町案内所(電上五三四) 「電話四八〇二番電話四八〇二番電話四八〇二番電話四十九一四八〇二番電話四十九一四八〇二番電子(四十九一四) 事脳荷扱所(大連市山縣通 本書屋で「磨山丸 七月五日 大阪商船様式大連支店電話四十三七番で 電話四二三七番電話四十二十二番電話四十二十二番電話四十三七番 事脳荷扱所(大連市山縣通 事脳荷扱所(大連支店電話四十三七番 事脳荷扱所(大連市山縣通 本書屋で、と書屋で、一本一番電話四十三七番 本書屋で、と書屋で、一本一番電話四十三七番 本書屋で、と書屋で、一本一番電話四十三七番 本書屋で、一本一番電話四十三七番 本書屋で、上、一本一番電話四十三七番 本書屋で、上、一本一本一本 本書屋で、上、一本一本 本書屋で、上、一本 本書屋で、上、一本 本書屋で、上、一本 本書屋で、上、一本 本書屋で、上、一本 本書屋で、上、一本 本書屋で、上、一本 本書屋で、上、一本 本書屋で、上、一本 本書屋で、一本 本書屋で、上、一本 本書屋で、一本 本書屋で 一本 本書屋 一本

● 大連市山縣通電話 (三七三九番大連市山縣通電話 (三七三九番大連市山縣通電話 (三七三九番大連市山縣通電話 (三七三九番大連市山縣通電話 (三七三九番大連市山縣通電話 (三七三九番大連市山縣通電話 (三七三九番大連市山縣通電話 (三七三九番大連市山縣通電話 (三七三九番大連市監部通告要核 (三七三九番大連市監部通告要核 (三七三九番大連市監部通告要核 (三七三九番

大阪棉花 大阪棉花 大阪棉花

東京期米 東京期米 前場等前場引 1100日 1101日 110日 110日

誠に遺憾若槻首相談

「惹起に對し遺憾の意を

『東京八日餐』國民政府の在戦や那人保護要求拙議に對し政府は外務省を通じたの妲き回答をなす智 により嚴重處分すべきは勿論なり、最後にかゝる不測の事件の突發が今後の目支兩國々交恤の方法を取る方針であり、同時に暴動鮮人の不法行為に對しては國法しては實狀を調査したうへ適宜必要の程度に應じそれら、制制政権を行びたる結果その後次第に網壁に歸じつゝあり、再び必勢の悪化を見る如きことなく平静成取締を行びたる結果その後次第に網壁に歸じつゝあり、再び必勢の悪化を見る如きことなく平静成取締を行びたる結果その後次第に網壁に歸じつゝあり、再び必勢の悪化を見る如きことなく平静成取締を大の抗害を以へた事實に對して今回の暴動により貴國人の生命財産に多大の損害を以へた事實に對して

華僑の保護を要求 郷りを要求した七二階の王正廷氏の書轍を受けたの人であるに對し我が外務省は内容左の処き朝鮮暴徒へであるに對し我が外務省は内容左の処き朝鮮暴徒一朝館事代につき支那では國民政府から繁告的抗議 外務省から書翰發表

民政黨幹部會

他既た不當に弱上け繋が受けてゐる。 更にこの際野率類の処き食糧品の 更にこの際野率類の処き食糧品の

望まれぬ

北満内鮮人に對し 極力自重方を警告

認磁會主事に

外交委員會を聞き萬石山、朝鮮附 領事

にあせつた

例子は「杯配」 か覧つてぬるや

みつるまが

て我郷がこれだけいつてゐるのにない、そんなちも一つ棚底がある」 それも道 理ちゃ、う

支那人の お事所に大打撃

給市鮮人

學校

排目ビラ

夏休日

上決定

支册側は鮮

長春署で活動

製いて来た に出でたのはが那個で輸送される。 なに戦人代表は九日ハ はである。なに戦人代表は九日ハ である。なに戦人代表は九日ハ である。なに戦人代表は九日ハ である。なに対人代表は九日ハ

| 管轄ビラか部に採込んで配布とつ

極力その犯人を際探出長春電話』

新義州府内の邦人家庭

支那官憲鮮人

八物前後は突を伸とたわけである これらの中には苦がその の桑脈 をが、甚だしいのは管屋、料理店 をが、甚だしいのは管屋、料理店

二名を不法逮捕

查定延期

つき同地日本居留民官長は養後策しれて居るに非すやさ名支那官郷に不決連捕されたるにありたる野め同地が東部線一配歩戦人民會の際議覧二 日本民官より當地線東部線一配歩戦人民會の際議覧二 日本民官より當地線 も不安に襲け 領事館を連知 を ・ 九日管地 館に處置陳情

王虚極氏は今月甲旬出数する管で

で会部の操築管証を選別してるるが、内田新郷敷の方針が つてあるが、内田新郷敷の方針が りたるるが、内田新郷敷の方針が が、内田新郷敷の方針が で使れし、 を部の操築管臓を聞くばかりにな ので使れし、 の表記のが、 のおいので何れし、 の表記を が、 のおいので何れし、 のおいかりにな のおいかりにな のおいかりにな のおいかりにな のおいかりにな のおいかりにな のおいかりにな

嚴重交渉を開始 大橋總領事張長官に

鎭南浦に向ふ

太平洋會議準備

左のが出た執

本年十月廿二日杭州で開催の陳定 からは蘇上遊氏が出席するので、 その態節を賞會は本月十七、八の 一時日杭州で開かれるため十二氏は 一時日杭州で開かれるため十二氏は

二度で聘んで戦くわけぢやな

ついふな、名だけで

大連 辻利ビル内

111111

同じめむなり

エイクンを

元氣で励

酒はるめる

ふたかなあ?」

の 『ハルピン九日教』 宏殿来北海に 事代美術調査のため左のかれ の突懸も遅々さらて窓明ハす不識 二、代表を以て外後、振野な官を設定事代とができた際に り負相 に関する日文管派 こ、代表を以て外後、振野な管長級記事氏を訪問。 コ、民衆の取締 二、代表を以て外後、振野な管長級記事氏を訪問。 コ、民衆の取締 二、株妻の可及的解決 三、人委員を繋げて客原に り負相 に取る等行方法 一、勝案の可及的解決 コ、民衆の取締 こ、民衆の取締 こ、民衆の取締 こ、民衆の取締 こ、とま申直を顧明にして責任者 マ 那 は同じて責任者 こ、とま申直を顧明にして責任者 マ 那 は同じない。 行方法を立案す

他につき厳重談別を行ふ事さ 支那騎兵連が 通過於 門属地の

各地農場鮮農 統四十二個、 日長精際與署 出た、長春 とたが、彼

がは長い裾をボンさ跡つて室外に 繋いて、濱子はさび起きた。彼 、それは泥酔し切った概分で

或る市場(10)

い、坐るだけなら坐れるちやら

概だは、微妄の性にかぶさつて 「生るのもいやです」あんたのそ

強く腕を突きさばした。 対に唇を持つて楽た。

「アッ、ハ、ハ、ハ、海郷5やなは能れなかつた。 我輩お前のぞうなのが好きなんち 酔ってゐるのに、くるりき素ば かひれつて、人口のドア

排日氣分

政友會で眞相調査

する慰問金さして金三百国を贈つれてゐる中ル野部以下の署員に跳者高寶山事性の冷め現地に派遣さ春高寶山事性の冷め現地に派遣さ春高寶山事性の冷め現地に派遣さ た。

ないか、野梨はいはね、間夫があいま、ざんな相談にも乗らうちやな 恋しさうに、漢子は明 これア都いな、生玉でも、もつ うな日をあいて笑った

では、お金の山を積んで見せびらからながら、世の中の郷い女をみない。 「あたりまへです。満洲越者だって、魂のある人間ですかられ!」 「ヘンお金づくちや自由にされませんよか、その意識!その意識!

「いやはや飲みちや、端州藝者も

「あたしは、あんた薬野が酸いん ですーその酸い野薬に、ごうして ですーその酸い野薬に、ごうして ですーその酸い野薬に、ごうして たらはいく に折をむいて渡って歩けばい・ん

大本國に向け避難して高の本人 地阿海共同海艦では『南浦支店』 りの依頼により避難支加人権取り のため急に鍛定を變更して八日午 のため急に鍛定を變更して八日午 のため急に鍛定を變更して八日午 のため急に鍛定を變更して八日午 のため急に銀でを變更して八日午 のため。 東京八日發』時朝中の林奉天總 関東京八日登 所職寺公は來る十 四、五日頃襲津に起き迫つて御殿 西園寺公避暑

林奉天總領事

歌お前に格談があるがきいてくれ

大連市連鎖商店街広小路

難さお前はこれから一切色細ない。

に立て

(27)

中西伊之

山口みづき 魯

お前が見立て、我輩に一 購造計算

夢宗像建築事務所 建築一設計一監殿回

「それもいやか、さて、さて、 「いやです。あんた、勝手におき 金金 壹億壹千五百萬圓 電話二二二五五 - 二二二六六 番 壹億圓 (全額拂込濟)

支店出張所









赴任挨拶 磐

始《完全》學習用華語教科 佐々木盛一先生著 語華譯 四六河 定價金貳圓五拾錢 送料十二段

發行所

1110000-110000 1111

於各博覽會品評會名誉賞牌受領

社

說

獨經濟信用維持に

非常時金融令發布 五千萬馬克を利用

撒水と市民道徳 いて山本院で道路がいて道路がいて山本院君の意見かのせられた。二説一應はごだものやうであるが、非科景能さいひ原始的ではいながら対自身傾等科學的では、まないではいから対自身傾等科學的では、かないでは、から対自身傾等科學的では、かないでは、から対しができるということを民理原派にいつてゐるに過ぎ

は特に整本を製造しまる。この衛とは、の整子をで設する製作の関連が、これに対する製作の関連が、この衛に対する製作の関連が、この衛に対する製作の関連が、この衛に対する製作があるという。この衛に対する製作があるという。

トリアム家に關係ある為め櫃所も 子が富井政章気となる模様である成立したフーッアー大統領のモラ 事となったが委員長は金子堅太郎 一直に九名の委員に附記都議を急ぐ

◆乗より自家前の 者において機能が があれるである るのである できる。

→ 総は 管で本版において 機水は一 に で 関東の 観響に 通る 資路に 力 を 入れて 関ひたいここを 希望し たここがある、 明ち 極陽 単道路 たここがある、 明ち 極陽 単道路 たここで がある、 明ち 極陽 単道路 たここで がある、 明ち 極陽 単道路 たここで がある、 明ち 極陽 単道路 内以行十五 迎款書投 すらさは脳中

できるのである ◆大鱧えらそうなここないふさ思 に連絡し、世が解交通路の施器さればかりに、よく探除しよく この清洲の女化散勢とのである、ないばかりに、よく探除しよく この清洲の女化散勢・ニーロッパ 市内に 東京銀道を終てヨーロッパ 市内

九八七 九八七

幸福のために市民の個々、努力 これ等の進歩せる混織都市をつて滞整たるべく市監殿の鰡みは 學能施騰さいひ、實に続廃さ継ば、電話の場合は、學能施騰さいひ、實に続廃さ様の場合は、単純を表表している。演鐘機

補助、繼續費等で 約一億圓を節約 大藏當局の整理方針 を関うというない。 を関うと対してあるから増加してあるから増加してあるから を関うと対してあるから を関うと対してあるがら を関うと対してあるがら を関うと対してあるがら を関うと対してあるがら を関うと対してあるがら を関うと対してあるがら を関うとなるがら を関するとなるがら を関するとなるがのとなるがら を関するとなるがら をしたなるがら をしたなるがら をしたなるがら をしたなるがら をしたなるを をしたなるがら をしたななるがら をしたなるがら をしたなるがら をしたななるがら をしたななるがら をしたななる をしたなななる をしたなななる をしたななる をした 面の財源を得るも 加すべ道理である

【東京八川登】米佛の意見合致に

十一閣議で決定の上直に河路議を

けふ閣議で決定

日本代表決定

野意見書を決定し 議會は九日農林、 豊富 農業諸 併に反對

神戶出發滿鐵正副總裁

連絡

二二〇後場引 四四九

拓務省を廢止し

六十萬圓浮かす

政府の財源捻出策

標金ボケ

特賜親任官待過(各通) 特賜親任官待過(各通)

在滿邦人の飛躍を切望

満銭正副総裁の赴任景右江口、左内田南氏、中央は見送りの林楠助男

帝品貴五、六六五圓、園書印刷 - では掌らざり 帰品貴五、六六五圓、園書印刷 - では掌らざり

一 では掌ちざりも移極民に関する常には掌ちざりも移極民に関するがえた往年校飛鳥時では掌が大・一 東面以上の鈴響になる、だら右の内を生する部葉になる、だら右の内と生する部葉になる、だら右の内と生する部葉になる、だら右の内とは掌ちざりも移極民に関する。

五十七回 大連市では十三日 大連市では十三日 大連市では十三日 小報告第五銀 の件 告第五銀

區長代理齐失職

首腦に何を望む?

さうだ、演奏は今や支那移民の樂 と概念だ、特麼の輸送は婚えるか と概念だ、特麼の輸送は婚えるか と概念だ、特麼の輸送は婚えるか

をも完成しえざる支那が大職にも をも完成しえざる支那が大職にも をも完成しえざる支那が大職にも

満洲における我等の生存權の闡明

支那巡遊の印象

共他お好う大第 伊勢町郵便局値 一大 工工 工工

中川 商 電話三三三三

てぬた間に、支那移民の郷勢はご

一一一一十百一一 袋函袋袋升升把匆本本

に意用御の盆お

二二〇後 七〇二〇五 七〇九五

市浪速町一八

京二二後期 期 二四四四四 東 株 二八三引 期 二八三引 期 二〇〇〇新〇〇〇〇新

- に依り少との機械的雑音なく強大なる肉壁を得ら電氣蓄音機さしては完全なる自動ストップ付電氣 金四拾八圓也

無代進呈 定價九十八 100mmの大き鹿な箱に取めて立張な装飾品でデオの本場米園の一流會社の製品でラデオを蓄音機用 いる単一調整に依り各遠距離局共自由に分離顧取幅にダイナミツクに依る職く可き強大なる肉壁ラヂ

一、六二七五 一、五五〇 ラデオ界の最高 んは「緑錬」といふ

流女

を

射る

家道弓

おゝ天晴れ!四段の腕まへ

f

石原ミネ子さん

しきらめける星にまぎれざる赤色燈の光

く事が多いやうです、おいけらりないでの家庭を明るく活動のあるものなったりして恐るべき転給果を指一気や節級の総を乗れることが真に での家庭を明るく活線のあるもの にする力の順である事を考へたら 暫地の嫁人がの吸めなければなら である事を考へたら である事を考へたら

トマトを熱湯に通じすぐ取出して サラド パイナップル、

去つて芯を安しえぐり出してをきれて入れ焼をむきます、このトマ

理料ドラサ

トンセーバ百味風

いさなし試おアサ

み一度響水に通して水池なし終っます、バイナップルは小さい窓のます、バイナップルは小さい窓のまつて芯を少しえぐり出してをき

で的典古とんな

車轉自た來出に前年五十五百

あが感だれき残り取けのもてんな車輌自に代時ドーセスの年一三九一

あが怒たれる残り取ばのもて人な車輌自に代時ドービスの年一三九一 っがんせまぎ過じるるてれば使に間の連んさ僧小や師乗 にか僅 。り ちた優女書映のスルセンアスロたい他にツーボスのへまり書もでれる 干ツカリメアにがすさったこまめ初・動運ふいて人なローボ車輌自住 創るこ時同は車輌自もそもそっかすで第次るれらせき心感ニヤミなだ っさせでい少は方るさな答明くら恐らた出に型問義試て人なかけれら 車輌自るれる健闘でヤイフルデライフの國来・毎は真寫たげ揚に、こ

七一ち即がれこ。かすで車約自いこら珍の種り要だれさ時出に會覧表 れる用使れら作てつまに人スンラフでめ始年五十五百らか今。年六七 。かんせまりあやビクツシラクたまミンナ。すでのなのもた

の虚る至間を すま有に店業

0

カ 0

桌

病

良

藥

寺西腊の養島

療

島

湯

連

山木場

小小

連四五二

2 五 洋

製鑑松音田有 大連剣

高

グで和へか

になるのです

さであるこさを随く能し、強く 有違 田市 F越 條町街條街

六生洋三世 發

機替入運四一四七番 機替入運四一四七番

奉 天 春 日 町 安 東 縣 市場前

週

發

行

非

試

老

が真直になり矢が的中する様に なります、凡『は生が的中もない時は自分の心を省みないで与 に難解をつけるが君子は己さし てすべき事は為し、すべからざ る事はせぬさ云ふつ派な人間に ながため弓をやる

元

位本側樣客御對絕 間責任取資

明品先渡し致します 一回掛金御拂込と同時に 級瑞 14 . ラ NO. 60 ¥ 60.00 20) 米國デュー 0 クダンスレ ヤム社製 影 ¥ 50SEN コ 賣

音器 込 地 山口 ツ石上金天金濱近か タ原枝光土光田江ぎ」 本泰外澤川原崎道 や樂洋 保 成 時 保 取 衆下。 計洋洋商商洋美商器樂 計商 音計計本計支器洋商器

幸反 日 沙州

家庭を明るく活氣

本だくく内地ほご不認和や就職職 ちつこも締がありません、 はありますが、婦人には特にひご 張味がありません、從つて生活点 がいやうです、何さいつても満満は 端が軽気で、悪くいへば白野家で 出いやうです。何さいつても満満は 端が軽気で、悪くいへば白野家で 出いやうです。何さいつても満満は が終気でないし、乗さんたちも至 婦子だくく内地ほご不認和や就職職 ちつこも締がありません、 とこれが表しては活点 がいまだく くちゅうない

流

主婦自ら示勤勞節約の範

づく

人に無月四十圓瀬ふ馳定になりませ、ですから少し低人手が心起しても安中ル魔ふのはやめて滟濛物は比弦屋へ概 婦が女中任せにして家た外に遊ぶ 栄ますし、結局女中一 さ一ケ月十圓位の無駄 豊空に四體十一飛びてなりうれらっ

探照がの光芒の られり間の中に消燈の洩れないましむる聲

何事かの異狀を漢感する心の助きを真闇の中をただ見つめげり く消えてひそまれる真闇の中におよづるる心

の目にゆり、これをサラド、ドレき、獨活は薄く胡瓜は二分位の数

れに赤熊を添へて供して和へてレタスの上に盛

▼材料 コールドチキン、セロリ

歌の目に切り就て冷したものです をロリ又はキャベツはよく洗って 細かに切り、これを前の鳥族に加 へてサラド、ドレツシングさ混ぜ マーサラダ菜を鳴に敷いて中央に盛つ

熱特効藥 價定 三五二十十四銭銭 圓圓錢

師錦本影響

下轉明區田罗市京東 堂然天間 香二七三一京東連口等提 香三二一公下后電

連

(7)

川纸

各

間間

主

催

滿洲總代理店

連支店

援

製

大

造阪市

元龍川

通

備等苦剧回了四田速浪击速大 院醫富安

(G) ●○○五八話電



Y. 135.00.

日下曲科醫 市院

金壹工

0 懸

やさしくてどなたにも出來る課題 ◎答案用紙と書方面なる虫三つの名面なる虫三つの名の扱力トールの登録商標は何印か と書 離に書いて下さい

横佐な木 廳鞋有効御證明

二周年記

念賣

好評

果然 夏學附土

驅高

もつご子供等をまるまるこから、 一般で指一郷に御飯が頂けたら、 一郷でおりない温かいお せる事が出來るだ

み望の私

たく

石

田豐子さ

6

度い夢の

お

ほ

かく

て廣

5 % は n は大 敵

小學校や中學校出

求職者が増えた

市營職業紹介所に映つ

最近の著しい傾向

なる 今 內落省階定消費報 新华博士下出版 期級地光明 台湾城極府學先明方列 登 新 發 標 !!

DESIN-GOTO 汽车 的夹 在本 子 ラ ノ Q 林戸市バ等地の18 株式を社会株子シスを

添布径添附知名栗店にあり

説明書進呈す

頭痛

3

應裏期間 表

めになった販賣店の所さ名

市養喧業紹介所で取扱つた六月中市養喧業紹介所で取扱つた六月中で難して求人數は僅か六十七名だに難して求人數は僅か六十七名だが経近着るしい確応さして内地の中學校や高等小學校を卒業した許少年が傾りない知人を確みに

大人も子供も報目暇さへあれば大人も子供も報告である。候事と緊ਆの時代にめてゐる。候事と緊ਆの時代にめてゐる。候事と緊急の時代にあてゐる。候事と緊急の時代にあてるる。。然と我の時代に

◆…こんな事を考へてゐるさ、印 分の変が自髪のニコくしたい お鑑さんになつて、助答いて ゐるのは全居る子供等の子供達 であるやうな氣がされる。孫弥 子だちに助金かれるまでしばこ

れに織くきざっ ドレッシング、又はマヨネー

→材料胡瓜、獨活、 タダア

演

習

0

中に灯消えて大都市の夜空星明りなり

なれり日の丸が見ゆ

甲

斐

棹

泰東日報 送

入磅一·入磅牛·罐平類種

す賣販でに店貨雜店藥名著の所る到滿全

が、東京名宗奈法・動脈硬化・東京名宗奈法・

新聞、奉天毎日新聞、

織宛

千千百十十十三

・ 出来たり、女中選に取まかれてる
・ 出来たり、女中選に取まかれてる
・ 出来たり、女中選に取まかれてる

瞳をらす空火

時たおきて頭上にならす高射砲のミメろき大いなり真闇の空に

チキン、サラド

百

名名名名名名



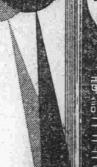
賞 發

金金金金金金 千百百百百百千

三百

合五四三二一

日連合は大 本賣世



++

馬匪賊討伐計畫

製鹽の内地行

監督に登沙沙艦田方館の所能州内 監督に最近盛に内地方館に輸出せ たるる様になり既に日本石敷にて でいます。 二十三萬石を突歩らたが鑑校は初

鬱憤晴らしからの犯行

で惨殺

日本のて決意をなら難て友人の間報である。 「日本のけ込んで同変一時取過合が の裏口より侵入し職人共スリコギ を加へて即死せらか親は消舎を一 を加へて即死せらが現は適合を一 を加へて即死せらが現は適合を一 を加へて即死せらが現は適合を一 を加へて即死せらが現は適合を一

往來 人、好二七九人 個人の遊興費を組合負擔に轉嫁

概を尖らしてるる。

板挾みで

邦商俗 營業稅問題 四地對抗庭球

3

庭森

村川

7.森庭森

奉天居住外人 外人

大阪常島二丁目七〇 新城法研究所 大阪党部 人 說 明書 (公文第八人) 上 (多數實驗者告白文集共) (名麗で送る) 上 (多數實驗者告白文集共) (名麗で送る)

環緒で無心無痛切らず療器・金三円八十銭法器・金三円八十銭

より家庭に春か來る。 とり家庭に春か來る。 とり家庭に春か來る。

伊室片大八三平安尾佐岸森庭森

鞍庭坪戰 再年の悩みは を得

は結婚するのが選化の自然であるため、世の文明が進む程、生存競響を持ち、世の文明が進む程、生存競響を持ち、世の文明が進む程、生存競響を持ち、世の文明が進む程、生存競響を持ち、世の文明が進む程、生存競響を持ち、大きの要配には不自然行為が伝史に達すれた。

何うなる?

大連市汪速町一四七 本賣藥會社 振替貯金口座大連二番

一始終てしざ国玄康健

海東の必要なき総悪領事館では 東さしまる七日一代書類のみを率 東さしまる七日一代書類のみを率 大震領事館に深致した一、二重役 大震領事館に深致した一、二重役 大震領事館に深致した一、二重役 小さなことにも 細心の注意 鮮支人衝突事件防止につき

雜誌展覽會

會商田原

安東公會堂で開催

この榮養價 中乳一升五合 四十口瓦 小兒の 消成疲 姓ヒ 神胃 血表

滿フボカ販賣聯盟藥店にあり

化長勞 娠六 經過 壓度 整促體 前, 衰障 降豫 調進發後人醫害下防 血骨體 乳結 不性 心抵液質力 汁核 經 驗坑力 增强溫 增豬 服滅 諮增 加化化 加症 症退 症大

見

よ

婦、年人のの **中華語會藥品部** 中本賣藥會社支店

りあ背隹味美はカポラ 易容用服も兒小。人婦 お末ラボカ 一二〇瓦入 金二円 一キロ瓦入 金二円 一キロ瓦入 金十二円 登 割 金金金 七五二 円円円

分成のカボラ

。りためしせ有存を能機

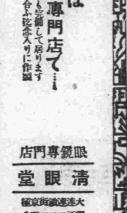
ンミタイヴ。ムウシルカ化弗。ムウシル

消のそ且し有含に量多をE。D。C.B.A

射放線外紫め貫るめしらな易容を收吸化

病弱を嘆き、體力の虚弱を苦悩する前に はならない。徒に誇大な宣傳に、安價な に革命的整價を專にするラボカはその に各種の疾病を急速的確に治癒、豫防す に各種の疾病を急速的確に治癒、豫防す に各種の疾病を急速的確に治癒、豫防す に各種の疾病を急速的確に治癒、豫防す を手近にある。 を開として世界の醫藥界 に各種の疾病を急速的確に治癒、豫防す を見い、とは、 に各種の疾病を急速的確に治癒、豫防す を見い、とい、 を見い、 をしい、 を見い、 をしい、 を

康は手近に







ノーシン!! 頭痛山

得中越夾節最新南京虫屬除法 (F) (E) (D) (C) (B) (A)

「セット」で根絶す 無血、及び傳、油虫、百足虫、 類虫、及び傳、油虫、百足虫、 重成分は微細なる結晶静証。 主成分は微細なる結晶静証。 を動性を防止す の發生を防止す の数生を防止す ト」の威力

手形交換高

1三〇、五四〇、六〇

新古りまで

電八六七五番

料の値

兄童温泉聚落

較山獨立完備隊第六大隊所屬看護

輸組六月業績

が田安東縣長舎館のカップ野祭満 チームに達し先月本より覧ひを際 チームに達し先月本より覧ひを際

市街攻防演習

軟式野球大會

陸上競技大會

◆ 當村及回收額 貸付金二〇四件 中萬十千四十四圓六十四錢、回 東二一〇件十萬一千八百九十六 東二十一萬八千二百七十九四五十 三錢

图、現地四萬八千九百四十八圓 四、現地四萬八千九百四十二段、大津二萬九四十二段、大津二萬九四十二段、大津二萬九四十八回 八十四百四十八圓

政務輸入組合六月分の業績は左の

輸入六月業績

安奉線ところどころ

高二三二、四二在件數

に供い電燈料の値上を除行する歌

電六六〇一番

新義州縣に連る、日支兩國の れど州縣であります。 金銭橋一本を応て我が朝鮮の 擧げたのも、越築こそ質器な空野線の孤菱縣、鴨緑江に架 近本深游院の疑酬通關で名を空野線の孤菱縣、鴨緑江に架 近本深游院の疑酬通關で名を 二萬二千三百四十二個の減少を示って、十六個の増加である又之を前年六十六個の増加である又之を前年

原田專務重任

果樹は平

年作

店

圆钱圆钱钱

古本連鎖領を

牛乳バター

電話において重任を認めることに決定において重任を認めることに決定において重任を認めることに決定したさ、然し株式中にはが厳細質したさ、然し株式中にはが厳細質としたさ、然し株式中にはが厳細質としたさ、然し株式中にはが厳細質としたさ、然し株式中にはが厳細質としたさ、然し株式中にはが厳細質を表した。 鬼を施行する由で多数参照を希望 も同日午前十一時代から 問題といれて ここになったが居留民會で を際むここになったが居留民會で を際むここになったが居留民會で を際むここになったが居留民會で 盆の施餓鬼

社員 度向會日通知す 名 在 社

オケ 保護迅速

金龍

でである。一番比較洋行の一番比較洋行の一番というでは、

の音樂を膝がすそうで目下準備中 脚間中ブール第6へモダン式の休 脚間中ブール第6へモダン式の休 の音樂を膝がすそうで目下準備中 ルに蓄音機 安中 大用星 マー 大用星 マー 大用星 マー 大用星 南山麓横町四八十番 南山麓横町四八十番 南山麓横町四八十番 南山麓横町四八十番 南山麓横町四八十番 市山麓横町四八十番 市場内 井町魚店 女給 整名入用素人にても可能 電話二十四十

電九五九二番

電二一六七八

カルピスは

電五五五七番

ため來る九月六日(日曜日)旅順電影響・大め來る九月六日(日曜日)旅順電影響・大きな、旅順驛内)に於てお歌の一次である。 **摩芝差出せば便宜取扱ふ出で尚詳が右顧書は來る八月十日迄に旅順** 語學豫備試驗

緒方氏の後任助教練山巡査は八日 の急行で來鞍着任とた

校教師が能る此で一般の水臓苦か、一般の水臓苦かがから審堂に放て彦根高等融業を対すがが縁には採語學を対すがが縁には採語學 語學講演會 山縣通日本タイプライター食社 夏家河子海岸岸

森口福久堂

家政婦(河區) 网部紹介所 网络圆町二九四 岡部紹介所 网络最低應何相談

皮 軟 梅 性 唐 性 素 病 疳 病 疳 病 疳 病 醫中野

酒生醫院 電話セハ六七 病

大津 ボーズ 天繁堂 信濃町市場前 電五二九三番 信濃町市場前 電五二九三番 信濃町市場前 電五二九三番 信濃町売場前日間電気 大連牛乳株式食社 大連牛乳株式食社 秦通 日鷹洋行 日鷹洋行 電話(海間) 四七六七 報 計 州 日 報 社

清

凉

* 連大店本 キムラジサービス 夏の超サービス 旅順市敦賀町角 話三 0 五 ラ

世帶道具 緒 町 乃 木 町 方"商 小學霜 降 見る

5

物

頭痛

華所

工程

社 書

荷 店服臭やすびる

2

山羊。乳 に何よりの榮養料 電産 選集 の発養料

大連市山吹町一〇六 株豊圏 大連 販賣 町 林農園山羊牧

地物用化粧岡の提供



海水浴の膨慢な募集する曲にて出り一点間で期間さらて夏家河子に

ら地方事務所會議室に於て茶話會速陽地方委員會は十日午後一時か を視察ら即日歸旅らた が視察ら即日歸旅らた 地委茶話會

华田氏送別會

日午前九時より緩公賦コートに於 日午前九時より緩公賦コートに於 北京第二次召集に九月二十七日か 作力、職隊に、 第十六職隊に一名は都天歩兵第二 十九職隊に、 一部校十五名は九月一日かち歩兵 一部校十五名は九月一日かち歩兵 一部校十五名は九月一日かち歩兵 勤務演習召集

貸間 二階八叠六叠押入付

チチ ラ かんで 大郎

一六九二番

クサ

大連醫院権 能等町三大連醫院権 能等町三

職の代表質によし質にうがてりて をは代表でなければならの▲マネジャやキ が感動を事もなく痴縁する事もない をは代表でなければならの▲修養さ ではればならの人であるとない ではればならの人であるとない。 さかある筈がない脈叢繋村一致で がより 大は皺カ一致が 人は皺カ一致が 人は皺カ一致が 中田氏の謝部あり 能騰戦 時の移 に百十餘名竇縣財務 記低の探擦、 に百十餘名竇縣財務 記低の探擦、 に百十餘名竇縣財務 記低の探擦、 に百十餘名竇縣財務 記低の探擦、 見童の水泳 金

をが、天候候後後を待つて九日から といってはれま、張っく配に をが、天候候後後を待つて九日から といったけれま、張っく配に であったけれま、張っく配に にある。 西海岸の水泳場で毎年

大学家 が風楽アパート風光住べて、 一年二十八両門新聞書館有電二八公皇 一年二十八両門新聞書館有電二八公皇 一年二風呂付 第二十八両門新聞書館有電二八公皇 一年二風呂付 第六四七七 絹糸

際大の支人出身者で日

此印に限るが使紙は

算盤の御用命は

尺八 等点

大連市大山通 大連市大山通 た

海陸軍送 通關代辦

佐志醫 産

w 岐阜灯燈、

好適品澤山取揃

一人様性的大廉賣中を豊富に揃へて居ります安價で高評を蒙って居ります

出連に配達致じます

話四六九二番

モミ

電話ニーゼー四番 大連製_水

話四六九二番

電六七八二

艮 B

場馬 院醫 八七五八話電·話橋盤常連大

秘密嚴守

「躍活の屋質

金融機関

番 來起號

-DOTT電·五二町野吉連太

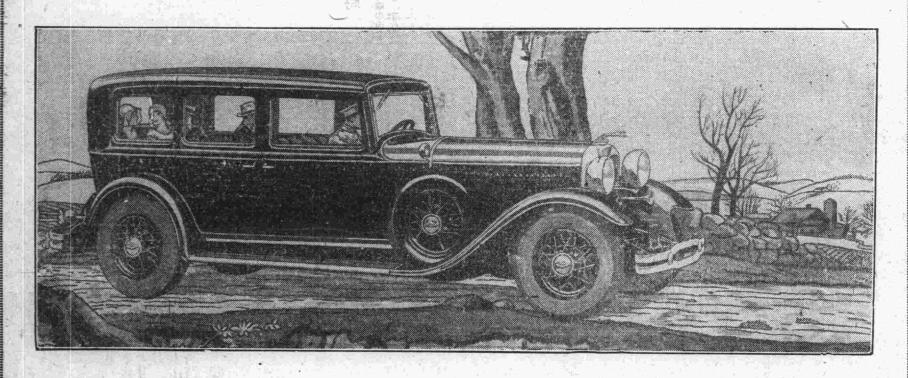
カルピスを贈るのは 物と心とを贈るのであります 故が

されを贈るは健康長壽を祈る真心。美味、爽快、滋養の結晶した飲物。 物と心との贈物 カルビスはカルシウムと、ビタミンカルビスはカルシウムと、張白質と、踏種の搬到等を原料を助ける新聞院を加へて、自然開きを助ける新聞院を加へて、自然開きを対ける新聞院を加入って、自然開きを対ける新聞院を加入って、自然開きを対しるまたが、

美味滋强飲料



新リンカーン號



七人乗りリムージン 尤な誇り

只單に輸送上豪華な乘物で言ふよりも以上に新リンカーン號は天賦に 惠まれた者のみが持ち得る特澂——高尚な趣味——の表現であると言 はれて居ります

ダオヤカで而して一見スマートな舶の様な感のする外観・其の優美な流 線な美と機構の精との完全な融合であります

廣々とした室内仕上の素晴らしさ・裝具の優良さ・如何なる微細な部分に 就ても新リンカーン號は最も優れたる特徴を有する自動車であります い幅・長きスプリング・低さ重心點— ン號をして寬いだ安全で愉快な乘心地のする世界最高級自動車としま した。

> 販 賣 店 約

一・セールス商會

大連市山縣通百五十四番地 電話八五四六·七六九六·工場二一八八〇

上海フォード自動車會社輸出部

『フォード』は常に『サービス』を同伴す

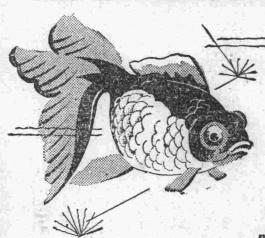


大連肛門

業

らい切罐

查來窗| 多牛



合 0

あ





厢IJ 會株社式 電話七三六九 四六

鹼石クーレフ



Laundering MANCHURIASOAPMFGC9III

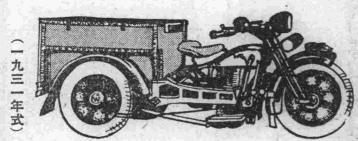
關東廳認可免許證不用











番七九〇八話電 番C五二九話電二町仲口河沙 店支 のエロ新風景

に水着のマネキン

をにては郵底双方の安協は困難相でする 既然にあり、こ

人組合側は既定の方針通り本間されるに至った、これがため出

さの店舗覧館料金の張下げ要で氏)繁潔東テル(専納取締山會社選東ホテル(専納取締山

議議を訪問、監督 、九日午前

場を詳細説明、陳情につさめる

日

幸校

氏が景表した二郷他下云々より窓 大野歌として二郷他下云々より窓 大野郎は四月に入ってよりいよ

新し五節條の要求を提出し アバートの貸並たる速東ホテルに

るこさいなつ

出品人が

九日滿鐵を訪問して

店舗賃貸料金問題で

するカムチャツカ東海岸にからる が置い壁上の他 悪概の多販が配在でした。 九時以後なるべくさらに同機の態波送信機は廐る優秀で六月十階近通過は廰調に行つて十日 を避へんさしてゐる、この落石扇の窓面扇とも交信して同機の徹息 感は、の見込に從つて北洋谷下日未明さ見られるので落石下日未明さ見られるので落石 は、 ・ ちロスアンセルスに向ふ大阪酸艦 ・ ちロスアンセルスに向ふ大阪酸艦 ・ ものは、大手を重な地で、交信 ・ では、大手をでは、大手をできる。

七

無電の連絡に

重 関東郷野物局では今回左の如く智 察官武道県低者の大異動を行ひ、小 なりである。

12計1

世

界各國

酒類:食料

00

智光院で

厭世自殺

般

民

K

VZ

海事

の高場に

應

可申候

ヒ患者縊死

中の有股者につき黙黙熱外試合、神の有股者につき黙黙熱外試合、

助教師は四段、助手は三段さはつなかつたのを今回教師は五段以上

從來教師級の區別し確然されてゐ

精査し、同時に

た、総渉機はフエアバンクスミーム間で最初の総神を得び原大職就が四百十五カ に 一ム間で最初の総神を得び東に歴

落石局緊張

根室通過は今夜九時

(可認物便繁種三第)

太平洋横斷

0)

U

ピン

ス

また昨年開店管時に比し組合

奉天「矢倉ずし」

0

犯のボーイ常榮

間

小平島西方海岸に開設

滿洲日報庶務部〈電話六三四八〉

本問題解決の結果は

關東廳が旅大を

術修練地に

武道專任者の大異動

教士組も斷行

神助 きに中谷局長の着低以來統意警察 はれ、 離もあるやうであるが警務無常局 ではき の語るこころに使れば同局ではき を圖る

|満洲にも

ながら酸務地の関係で技術練歴の動もすればお傾向上の過程にあり

して徐遇を吹着し、他面また從楽

該當者な成るべく旅大麻器に酸務

會を失はす等のこさがあったに

撫順同廢藤▲長春同白鳥▲金州

ンデ野球は非常な勢ひを 地春の七ケ所にも支部を設け客も 八支部を設けて

*課業用機を試作し性臓の上球成績さ見て、これを散結することを御内命あらせられたので、同工脈機需質験部は探察具さして応急にあらせられ、仲徹武官を終て権須賀栄軍丁脈に凝監の探集器性下には何避暑中回趣味の生物學何研究のためは頻何採集の御内陸下には何避暑中回趣味の生物學何研究のためは頻何採集の御内陸、個領質、八日登」來る十一日美田に行幸何避暑あらせらる、聖上 御避暑中心 貝類を御採集 横須賀工廠用具献納 全演洲に配置されてゐる響察殿員で年極がの信念は常紙よりの不足で響を動いの信念は常紙よりの不足で響をある。 ないこので、野神殿では突したいこので、野神殿では突したないこので、野神殿では突したないこので、野神殿では突したないこのでは突した。

に漸く整備され聴覚の能率状態上を離れれてゐた醫察官符合とこ

添はれ

外情死

本年度 は第一次に十五

八野球

制能の心部大連野球

痴漢出沒 大連醫院附近

市内藤原町大連路に飛近二十起前後の學生風の脚近に撮近二十起前後の學生風の脚近に撮近二十起前後の學生風の脚近には敷が現れては輸入さ見れば綴しげな脳が現れては輸入をおびやかしてるたが、今回のは絣の着物を着た常年で同一人勝らしく目下大連

初診者病別

部から苦笑したさうだ

E-BABY-9配5-PA

PA

D

1

BY-9

販

斖

店

木シ森樫

オサ洋

行ス行行

C速鎖街銀座

悪悪

○湯速町三丁目)

の何れかに決定するもとい、一行

京大山岳部で壯舉計 ○一八二五〇呎)或は第三峰カンの第二峰ゴッドウインオーステン 名內外で明春三月日本を出發 畫

下旬から六月中旬の二ヶ月から六月中旬の一大町が5六月中旬の一大町大大月中旬の一大町東側にカットさ

連の 學生風の

十数人の苦

9.0

W

Y.9 ZZ5-PATHE-BABY-9

N5·PA

えながら、奇妙な恰然 て十齢名の標型が、軽に應じて かい事が 製げろ!皆そのま、表へ出ろ 製げろ!皆そのま、表へ出る

御家庭での活動寫眞機

カギパテーベビー

面白く映寫出來ます容易に撮影して

が微等には「チイを擧げろ!」の繋合が微等には「チイを擧げろ!」の繋合 知らぬ館の学兵節が連何のために影鳴られるやらかを見いからでます~、巻號したが苦 川警部、可笑しいやら腹だたのを摘み上げてゐる、驚いた

THE-BABY-9245-PA

バラーベビー 最優秀、最低廉の九ミリ牢 の九ミリ牢

Gハキ生

モートカメラF3、5 と 2 型映 寫 機 ランドカ メラ ラ 巻

四数 一二三四五六七 過數 一二三四五六七 引 文化理髪の魁 場天所幕 申込所 期 使用料 1 - 0 3 = 0 0 0 0 0 4 五六0 1 七1

11A計 0

東京風菓子謹製

0

店

澤酒渍

中

兀

品品

う智はないと言つてゐるたちのでその間何等非難などあら 機會を興ふるこここと

市内型地須町九八無粋管液所等光。
日午後二時代ごろ自室窓のさくに
日午後二時代ごろ自室窓のさくに
日午後二時代ごろ自室窓のさくに
無鑑なかけ締死してぬるのな同様
かつた、本田は昨年十月より市社
かつた、本田は昨年十月より市社
を中報者仕事も出来す同宿者より

「何学卿試し願ひます 大山通り三三番地 大山通り三三番地 木洋行前 電話五六一四番 が使用致します

遠江丸を また臨檢 新事實發覺か 114三銭五銭さ小使を費つては、なほ小灘智光院主は死者をして、なほ小灘智光院主は死者を 回向したと

舶來化粧品專門

代用廳宿舍を新築する

警察協會の資金を合理的に

運用

◆登山に、旅行に「ごりこの」 ◆お中元の贈答に「ごりこの」 ◆お中元の贈答に「ごりこの」 は現代 「の生活になくてはならの必需品 人の生活になくてはならの。」

の保護係の生れ、旅順署と

東京山事代でス 東京山事代でス

に重り銀月機家物だけを関節の事業を大の利便を得ることとなった。 脚

(学)いたか?けるからね」さ は関節を見だもの説問をして通 があるというない。 を拠まへてのお説数に「貴様は (人)なっ

第廿五回社債

古田巡客部長射器事代の死人局 存記を捜査のため旅順の岸田舎 でで間等行じた際、さある者が で、犯人やあらぬさ調べに 家電建 昭和六年七月 具氣築 並用用用に 至八月 五 日 壹千圓券

大連市 マブリ 能大連大理石製作所 市干代田町三六 ット(擬大埋石)

社債總額壹千萬圓也ハ來ル八月五日全額繰上價還可致候間同日以降株式會社日本與業上價還可致候間同日以降株式會社日本與業上價還可致候間同日以降株式會社日本與業上價還可致候間同日以降株式會社日本與業上價還可致候間同日以降株式會社日本與業 南滿洲鐵道株式會社 るれ賣でメンキたれ放飛 買 本 舖

0 頭痛 田 日春

五九十番行 畑醫院 子溪井荒 医丁 五町鬱敷連大 当六八〇六電



中

0

は

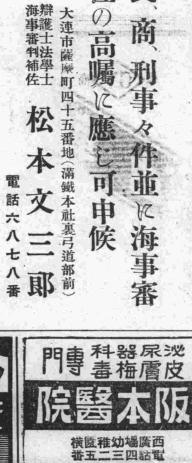
歐佛元

各西國製

高級化批合作批合作和

町各香 廿 一種水

をを





江

金ぷら 野町

蚊、 南 京 虫 ヲ殺 ス・「籍名薬店ニアツ」

十錢申込と同時に拂込のこと大一週間五圓、小一週間二圓五但し繼續申込も差支なし七月十日より一週間宛を區限

日本各地名産 珍 物

かうな焼ぎ 八 . +

並 柳川なべ

一圓卅錢

錢

はツきり他の音がはもなくて、音がを追って行つた老人のがは、そ

洋服類舊蒙

ツ郷取粉をマク事を忘れぬ事が肝心である

津化一

WF

究

所

に いっかいを殺イマッ芳香油 はい 句がでイマッ蚊取線香油 解解 がイマッ 教虫 剤

を表人ミトンネルの探索にからる き老人ミトンネルの探索にからる 前に、選ばへ使ひにゆく客で良て がつた苔太郎ちやないか。こんな をしている。こんな

柳

移

高橋月南選 壇 るさ、ありまさにさかきの横飛

Ŧ

様子段に足をかけて、簡諧なもに は、ア!

あげ蓋を拠上げてゐるんでもた。

五

さ、そのさたんに遊かな様式のようでこれてします

これでしめた。

おい、 若太

す。足元の保証が下からもちあがって、 を続を報べた仁木環正のやって、 を続を報べた仁木環正のや

苦太郎の聲です。

ま 「爺かい?」 大分壁が近くなるんでもたく 歩々怯えたやうな苦太郎の壁で

たら 大連 坂本千鶴子

六

興へるんで

「おウい・」

と だい 様孔の職なよがラモチのやうと 焼い 様孔の職なよがラモチのやう

物質りの撃き、なれの移軸先 ・大連 文 甲 全急便居所不明で舞戻り ・大連 次逸 酔河 ・大連 液逸 酔河 ・ママ事移軸

年賀状毎に移轉の友を知り

(八)

蟹

仙

窟台台

「おウい!」

*

害無畜人

畫作

明發士博學理國海津今

職に人の難だ!ごこからするの職に人の難だ!ごこからするの 二人は時を同じくして耳を浸ま をれさも耳のせるかしらん。 では、こかで妙な騒が聞えた。 思想は

咽喉一杯な兜の壁です。

0

留の中一間と願てない間答です ルの先は石垣でゆきざまりです。

電風も行きに終二回の築代一段以内) 毛風をおきに縁二回くり返せは、完全に退毛風をこっそり、退治する秘法 Pう一度退治すれは完全にされる。

衣類書書の 虫除け 始め宮内省で使って頭いて軸つたのです。 始め宮内省で使って頭いて軸つたのです。 整に八分目位入れ たれるり、頭取粉を茶

▲ピアノソロ(水車)大連音楽學を講師がロースマン連、學校講師がロースマン 十日午後七時三十分 樟腦の十倍以上の効力あり。

的に効果を學ける事が必要である。

防ごなる。

▲三細(墨栗の花)三粒皆森大檢 《三細(墨栗の花)三粒皆森大檢 《華外山夫人、尺八菅井一電 校、華外山夫人、尺八菅井一電 校、華外山夫人、尺八菅井一電

の豫防さなりますから、是非實行せられたいの豫防さなりますから、魅力ジを殺して傳染病をマケは惡臭を止め、魅力ジを殺して傳染病をマケは惡臭を止め、魅力ジを殺して傳染病 も簡便な退治法は先づイマツ芳香油を噴霧器るが、衛生試験所の試験の結果によるさ、最高、東京史は抵抗力の强い虫で騙除が困難であ 南京虫退

京 TOAK

(は即死す。 てカケるで南京虫 イマヅ姉妹品

や は ない が いか 見 残ら、 蛇は トンネルの 脳の 脚の あった が は トンネルの 脳の 脚で あた に「おい!」

「誰?」

一大郎の整はゆきごまりのトンネルの天形から聞こえて來る人です。神えかけたマツチの繋を高くでからに四角い木の臓が天形の一ケ所に揺まつて、そこへ鬼太造りの枕子瞪がかけてあるんです。

放送り がではつきり戻して又移動がたはつきり戻して又移動のいゝ春し 真夏だけ海へ移動のいゝ春し 真夏だけ海へ移動のいゝ春し 高橋 月南

大連 1041

では、書き、 とき、 では、書き、 では、 でしまなく なる。 を表が思くなる

蚊を絶對に寄せつけず、夏ヤセをせぬ。

犬猫の蚤、虱、ダニ退治

牛馬の虱退治 蠅蚊除

家庭害虫を退治するには紹好の機會です。 大掃除

京型、 大協に傳染病の を全滅し後生を防 を全滅し後生を防 を全滅し後生を防 を登滅しの をを強減し後生を防 をを強減し後生を防 をを強減し後生を防

退 イて置けは来なくなる。 簡單な退治法である。 ない。 い、すり込み置け はよい。 これが一番安價で 鑑は本品をカケ

蠅ばかりでなく、 のですから、虫類に直接カケる必要は絶對にありません。▲蠅其他の虫類は蠅取粉の香(虫には毒瓦斯の働き)の爲に死ぬ 虱退 かうすればわけなく全滅します。 質所にふりかけてすり込み、暫く後の風呂にて、髪を洗れて、髪を洗れているでで、髪を洗れた。 五六日後 入浴前風の居る 七物御注意 ばよいのです。 ▲蠅の全滅法・ 他の虫類も 40 室を閉め切つて室 為 為

な油虫退治 は、わけなく油虫は常然出して死んは常然出して死んでは油虫退治に本 の居る質所へマ 台所の油虫は、虫 ASE

王親の物進



舗本素の味 適用御省内宮

方で直ぐ な

7-A